

CITY

福岡シティ銀行

平成15年7月発行

編集:福岡シティ銀行/企画部

〒812-8687 福岡市博多区博多駅前3-1-1

Tel.092-441-2222

F U K U O K A C I T Y B A N K

福岡シティ銀行
ディスクロージャー誌

2003

CITY

D I S C L O S U R E

ごあいさつ



6月27日の定時株主総会ならびに取締役会におきまして
頭取の四島司が退任し、新頭取に就任いたしました。
このたび、34年の永きにわたり頭取を務めました四島司が
第一線を退くこととなりますが
創業以来の精神である「興産」そして「For You」は
今後も受け継いでゆく所存でございます。
来年の西日本銀行との合併を控え
さらに皆さまのご期待に沿う銀行となるべく
懸命に努める覚悟でございますので
今後とも、福岡シティ銀行をよろしくお願い申し上げます。

平成15年7月

頭取 本田 正寛

銀行法施行規則に基づく索引

このディスクロージャー誌は、銀行法第21条に基づいて作成しております。
銀行法施行規則に規定された開示項目は、以下の頁に掲載しております。

銀行法施行規則第19条の2…銀行単体の開示項目

1 概況・組織

- イ 経営の組織……………25
- ロ 大株主（10位以上）に関する事項……………40
- ハ 役員の氏名・役職名……………24
- ニ 営業所の名称・所在地……………26～27

2 主要な業務の内容……………30～36

3 主要な業務に関する事項

- イ 営業の概況（直近の営業年度）……………40
- ロ 主要な業務の状況を示す指標（直近の5営業年度）……………41
- ハ 業務の状況を示す指標（直近の2営業年度）

別表●主要な業務の状況を示す指標

- 1 業務粗利益・業務粗利益率……………61
- 2 資金運用収支・役務取引等収支・その他業務収支……………61
- 3 資金運用勘定・資金調達勘定の
平均残高・利息・利回り……………62
- 総資金利轄……………61
- 4 受取利息・支払利息の増減……………63
- 5 総資産経常利益率・資本経常利益率……………61
- 6 総資産当期純利益率・資本当期純利益率……………61

●預金に関する指標

- 1 預金・譲渡性預金の平均残高……………53
- 2 定期預金の残存期間別残高……………53

●貸出金等に関する指標

- 1 貸出金の平均残高……………54
- 2 貸出金の残存期間別残高……………54
- 3 貸出金・支払承諾見返の担保の種類別残高……………55
- 4 貸出金の使途別残高……………55
- 5 業種別の貸出金残高・貸出金総額に占める割合……………55
- 6 中小企業等に対する
貸出金残高・貸出金総額に占める割合……………54
- 7 特定海外債権の国別残高……………58
- 8 預貸率……………54

●有価証券に関する指標

- 1 商品有価証券の平均残高……………56
- 2 有価証券の残存期間別残高……………56
- 3 有価証券の平均残高……………56
- 4 預証率……………57

4 業務運営

- イ リスク管理の体制……………8～9
- ロ 法令遵守の体制……………6～7

5 直近の2営業年度における財産の状況

- イ 貸借対照表・損益計算書・
利益処分計算書または損失処理計算書……………42～46
- ロ リスク管理債権……………58
- ハ 自己資本の充実の状況……………59
- ニ 有価証券・金銭の信託・デリバティブ取引の時価等……………51、57
- ホ 貸倒引当金の期末残高・期中増減……………58
- ヘ 貸出金償却……………58
- ト 商法監査を受けている旨……………40
- チ 証券取引法監査を受けている旨……………40

銀行法施行規則第19条の3…連結ベースの開示項目

1 概況

- イ 主要な事業の内容・組織の構成……………64
- ロ 子会社等の名称・所在地・資本金など……………64

2 主要な業務に関する事項

- イ 営業の概況（直近の営業年度）……………64～65
- ロ 主要な業務の状況を示す指標（直近の5連結会計年度）……………65

3 直近2連結会計年度における財産の状況

- イ 連結貸借対照表・連結損益計算書・連結剰余金計算書……………66～68
- ロ リスク管理債権……………83
- ハ 自己資本の充実の状況……………83
- ニ セグメント情報……………81
- ホ 証券取引法監査を受けている旨……………64

創		立	大正13年6月8日
資	本	金	732億円
総	資	産	2兆7,088億円
預		金	2兆4,159億円
貸	出	金	2兆 548億円
自己資本比率（国内基準）			5.20%
店	舗	数	127か店
店	舗	外 A T M ・ C D	313か所
行	員	数	2,008名

目 次

■ 方針と取り組み

西日本銀行との経営統合	4
コンプライアンス体制	6
リスク管理体制	8
リレーションシップバンキングの機能強化	10
地域貢献への取り組み	11
地域サービスの充実	16

■ 業績について

平成15年3月期業績	18
業績回復に向けて	22

■ 組織とネットワーク

役員	24
組織図	25
店舗	26
店舗外ATM・CD	28

■ 商品やサービス

商品	30
各種業務・サービス	34
手数料	37

■ 財務情報

財務情報	39
------	----

経営理念

当行は大正13年の創業以来、「地域発展のお役に立ち、地域になくてはならない銀行」を目指してまいりました。

創業の折りに、地域を支える事業者の方々のお手伝いを志して掲げた「興産1万人」の企業理念は、その後、地域のすべての皆さまへと対象をひろげ、「For You」そして「Human City」へと発展し、創業時の精神を連綿と受け継いでまいりました。

引き続き当行が、将来にわたって地域金融機関として貢献していくために、「Human City」をより具体化した経営理念として、「めざす銀行像」と「行動指針」を次のとおり定めております。

Human City

福岡シティ銀行は
「For You」の精神にもとづき
質の高い金融サービスの提供と
積極進取の経営により
お客さまから信頼されるとともに
健全な業績の伸長を通じて
地域社会の発展に寄与する

めざす銀行像

1. お客さまの満足度「地域No.1」
2. 経営内容 「地域No.1」
3. 行員の働きがい 「地域No.1」
4. 地域社会への貢献「地域No.1」

行動指針 (行員一人ひとりの目標)

私たち行員一人ひとり
お客さまの信頼を受ける高度なサービスと
プロ意識と自負心に裏打ちされた責任ある行動により
金融サービス業務を通じて
地域社会に貢献します。

1. 信頼度 「No.1」
2. 情報感度「No.1」
3. 行動力 「No.1」

これまでの歩み

＜参照頁＞

大正13年(1924)		福岡無尽(株)を設立(創業者:四島一二三)	
昭和26年(1951)		相互銀行法施行に伴い、商号を(株)福岡相互銀行と変更	
41年(1966)	資本金 1,000億円		
42年(1967)		福岡証券取引所に上場	
45年(1970)	資本金 25億円		
46年(1971)		九州地租徴収 コンピュータオンライン・システムを導入 本店を所在地(福岡市博多区博多駅前)に移転 “For You”を基本理念とする	
47年(1972)		福岡県第一信用組合を合併 財団法人九州・山口地域経済貢献者顕彰財団を設立	13頁
48年(1973)		小郡信用組合を合併	
49年(1974)		第1回「経営者賞」表彰 筑後信用組合を合併	13頁
50年(1975)	資本金 5,000億円		
51年(1976)	資本金 50億円	東京証券取引所および大阪証券取引所の市場第二部に上場	
52年(1977)		東京証券取引所および大阪証券取引所の市場第一部に上場	
53年(1978)		新総合オンライン・システム(第2次オンライン)をスタート	
55年(1980)	資本金 75億円	九州ビザカード(株)(現九州カード(株))を設立(現子会社)	
56年(1981)	資本金 1兆円		
58年(1983)		長期国債の窓口販売を開始 シティ抵当証券(株)を設立(現子会社) (株)九州キャピタルを設立(現子会社)	
59年(1984)		情報系オンラインシステムをスタート	
60年(1985)		60周年を記念し、財団法人福岡文化財団を設立 公共債ディーリング業務を開始 (株)シティビジネスサービスを設立(100%子会社)	
61年(1986)		第1回プロムナードコンサートを開催	15頁
63年(1988)	資本金 151億円	(株)シティ・オフィスサービスを設立(100%子会社) 私募債の担保受託免許を取得	
平成元年(1989)	資本金 235億円 資本金 2兆円	普通銀行への転換により、商号を(株)福岡シティ銀行と変更	
2年(1990)		第3次オンラインシステムをスタート	
3年(1991)		“For You”をひろげ“Human City”を経営理念とする シティビジネスクラブを発足	14頁
5年(1993)		信託代理店業務を開始	
9年(1997)	資本金 311億円		
10年(1998)		九州初 「CITYテレバンク」のサービスを開始 九州初 インストアランチ第1号店を開設 証券投資信託の窓口販売を開始 全国初 「VISAカード」を銀行本体で取扱開始	17頁 16頁
11年(1999)		執行役員制度を導入 (株)シティ不動産調査センターを設立(100%子会社) 新情報系システムをスタート	
12年(2000)	3月 資本金 382億円	九州初 中小企業向け融資「CITYクイックビジネスローン」を取扱開始	11頁
	4月	九州初 コンビニATM第1号を設置	16頁
	7月	ストック・オプション制度を導入	
	11月	九州初 コンビニATMの24時間稼働を開始	16頁
13年(2001)	5月	九州初 「CITYテレバンク」の対象を、当行のキャッシュカードをお持ちのすべての個人のお客さまへ拡大	17頁
	7月	九州初 「CITYテレバンク」の法人会員向けサービスを開始	17頁
	11月	公的資金申請の正式承認(「経営の健全化のための計画」を公表)	
	12月	長崎銀行を子会社化	
14年(2002)	1月	公的資金700億円の注入を受け、劣後特約付無担保転換社債を発行	
	4月	西日本銀行と、経営統合の基本合意を締結(持株会社方式)	4頁
	9月	資本金 732億円 劣後特約付無担保転換社債の優先株式への転換 西日本銀行と、合併方式による経営統合について基本合意を締結	4頁

西日本銀行との経営統合

合併に関する基本合意

平成14年9月30日、持株会社方式による経営統合をさらに進め、平成16年10月を目処に合併方式での

経営統合を行うことで、西日本銀行と基本合意いたしました。

合併の主旨

- ① 良質な金融サービスの提供によりお客さまとともに発展し、且つ、地域経済の発展に貢献する地域金融機関を目指します。
- ② 株主、市場から高い信認を受け、お客さまから支持される地域金融機関を目指します。
- ③ 規模、収益力、顧客基盤及び存在感等において「九州No.1」の地位を確立し、更なる発展を目指します。
- ④ 経営統合効果をスピーディー且つ最大限に追求し、顧客サービスの向上と経営基盤の強化を図ります。

合併銀行の概要

- 商号 「株式会社西日本シティ銀行」(仮称)といたします。
- 存続会社 合併の法手続上、株式会社西日本銀行を存続会社といたします。
- 本店所在地 登記上の本店は、現福岡シティ銀行本店といたします。
- 合併時期 合併時期の目処は平成16年10月といたします。

経営統合の進捗状況

平成16年10月の合併に向け、合併準備作業を精力的に進めるとともに、各種業務において、合併に先駆け

た両行共同による取り組みを実施しております。

合併準備体制

両行頭取を共同委員長とし、両行役員で構成される「統合戦略委員会」を設置し、合併全体に関する経営レベルの協議を毎月行っております。また「統合戦略委員会」の下には、テーマ別の「統合準備部会」及び「システム統合協議会」を設置し、合併に向けての具体的な準備作業を本格化させております。

統合準備部会

企画・財務部会	営業部会	店舗・ATM部会
審査・管理部会	人事部会	システム・事務部会
総務部会	関連事業部会	証券・国際部会
監査部会		

合併準備の進捗状況

システムの統合

両行のシステムを「コスト」「機能」「リスク」「将来性」など、様々な観点から検討したうえでオプションを抽出し、戦略的な合併という目的のもとに比較検討した結果、下記の結論に至りました。

この基本方針に基づき、外部コンサルティング会社をも交えた「システム統合協議会」を設置し、万全なシステムリスク管理態勢の構築によるスムーズなシステム統合を図っております。

システム統合の基本方針

西日本銀行の基幹システムをベースとして、福岡シティ銀行のシステム投資に関する考え方を適用する。これにより、福岡シティ銀行が構築してきたビジネスモデルを進化させ、新銀行の競争力を飛躍的に高める。

ブランドデザイン策定及びブランド創造

合併の主旨に基づき、“経営ビジョン” “コーポレート・ガバナンス” “組織体制の枠組み” “営業面での基本戦略” など、新銀行のブランドデザインについての検討を進めております。

併せて、新銀行のブランド* コンセプトの策定と、シンボルデザインをはじめとするコミュニケーションツールの開発を進めております。

*ブランド=お客さまと企業とが共有する価値

人事制度の統合

新銀行の経営戦略を効果的に実現するため、新しい基軸での人事制度の策定を目指して、外部コンサルティング会社の支援のもと検討を進めております。

人事交流

合併に先立ち、両行の行員を相互に出向させる人事交流を開始し、“統合作業のスピードアップ” “両行行員の相互理解と融和促進” “新人事制度へのスムーズな移行” を図っております。

YNC21の設置

平成15年6月、両行の若手行員で構成する共同研究会「YNC21」を設置いたしました。

経営陣から諮問された2つのテーマについて、若い柔軟な発想をもって討議・研究を行っており、その結果は「統合戦略委員会」に提言され、新銀行の経営戦略等に反映いたします。

2つのテーマ

- ① 10年後の西日本シティ銀行の将来像
- ② 九州No1銀行への営業戦略

合併に先駆けた各種業務の共同化

平成14年6月	ギフトカードプレゼントキャンペーン	平成14年7月までに個人ローンを新規お借入れされたお客さまを対象に、ギフトカードが当たるクローズド懸賞キャンペーンを両行共同で実施しました。
6月	ATM無料相互開放	両行及び長崎銀行のATMからのお引出しについて、他行利用手数料を無料にしました。
6月	NCNネットワークサービス3000	両行及び長崎銀行の3行間で、相互に預金を取り次ぐサービスを開始しました。
6月	M&A仲介業務提携	両行及び(株)西銀経営情報サービスの3社間で、M&A(企業の合併・買収)仲介業務の提携を開始しました。
7月	ATM振込手数料の同一銀行扱い	両行ATMを利用した両行間の振込みについて、手数料の「他行宛」から「自行本支店宛」への優遇を開始しました。
7月	九州特化型日本株式ファンド「がんばれ九州」	九州地域を基盤とする企業の株式を投資対象とする、両行専用の投資信託を取扱っております。
9月	中国遼寧省福岡商談会	遼寧省の対外貿易を管掌する対外貿易経済合作庁による個別商談会を、両行共同で開催いたしました。
10月	中国特集セミナー	アジアとの関わりが深いお客さまを対象としたセミナーを、両行共同で開催いたしました。
11月	ダイレクトチャネル振込手数料の同一銀行扱い	テレフォンバンキング、インターネットバンキング、モバイルバンキングを利用した両行間の振込みについて、手数料の「他行宛」から「自行本支店宛」への優遇を開始しました。
平成15年1月	ATM無料相互入金	両行ATMでのご入金について、他行利用手数料を無料にしました。
1月	ペイバイファックスシステムの共同化	ファックスを利用した給与振込・総合振込サービスのシステム共同化を開始しました。
1・6月	両行共通の投資信託商品の取扱い	お客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えするために、両行で同一の毎月分配型投資信託商品を取り扱いを開始しました。
6月	スキルアップセミナー、涉外ビジネススクールの合同開催	お客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えするために、両行行員を対象としたセミナー、ビジネススクールの合同開催を開始しました。

コンプライアンス体制

当行はお客さまの信用を礎に銀行業務を遂行しておりますが、その信用を得るためには、社会規範や法令等に準拠し適正な業務を行わなければならないものと考えております。

そのため当行では、コンプライアンスの重要性を認識し、今期も経営方針の一つに“リスク管理とコンプライアンス遵守体制の一元管理”を掲げ、“コンプラ

イアンスは全ての業務推進における基本であることを認識”と明記して、その周知徹底を図っております。

今後は、これまで発生したコンプライアンスに関する諸問題の反省の上で、迅速な解決と再発・未然防止のためにさらなる法令遵守態勢の整備に努めるとともに、あらゆる機会を通じて法令等遵守意識の醸成に全力で取り組んでまいります。

コンプライアンス態勢

組織体制の強化

コンプライアンスの徹底を経営の最重要課題として位置付け、体制の整備に注力しております。

平成15年7月には、頭取を委員長とし、取締役ならびに関連部署の部長を主たるメンバーとする「コンプライアンス委員会」を新たに設置し、その下部会議として「コンプライアンス部会」を設け、コンプライアンスの諸問題について一元管理体制の構築を図っております。

発生したコンプライアンスの諸問題は全て「コンプライアンス部会」へ報告され、重大な事項については、

「コンプライアンス委員会」において経営に対して報告を行い、再発・未然防止策の協議をする体制としております。また、部課店に対してもコンプライアンス違反事例を還元することにより、コンプライアンス態勢の強化を図っております。

さらに、コンプライアンスの観点から業務運営の適切性をチェックすることを目的として、外部の弁護士・公認会計士等を加えた「業務監査委員会」を設置し、取締役会に提言していく態勢を整えております。

「コンプライアンスプログラム」の策定

コンプライアンス態勢を確立するための具体的な実践計画として、「コンプライアンスプログラム」を年度毎に策定しております。本プログラムは、本部全部署の参画による協議のうえ作成しており、今

般設置した「コンプライアンス部会」ならびに「コンプライアンス委員会」において、進捗状況のフォローを徹底することとしております。

規程等の整備

当行の企業倫理や役職員の行動規範などからなる「倫理綱領」、コンプライアンスを徹底させるための具体的な仕組み（組織体制・研修体系・報告制度など）、

遵守すべき法令・ルールの説明などを収めた「コンプライアンス・マニュアル」を制定し、全行員への周知徹底を図っております。

「倫理綱領」

当行の企業倫理や役職員の行動規範を謳っており、全行員が常時携帯することで、コンプライアンス意識の向上に努めております。

簡易版「コンプライアンス・マニュアル」

当行のコンプライアンス態勢のさらなる充実を図るため、簡易版の「コンプライアンス・マニュアル」を新たに策定し、全行員に配布する予定としております。

行内への啓蒙

全行員による法令遵守意識の向上を図るため、毎月1回各部課店毎に勉強会を実施しております。このうち、5月・11月はコンプライアンス強化月間とし、各部課店で創意工夫をした「自主勉強会」を実施するほか、半期毎に勉強会の成果を確認する「理解度テスト」を

実施しております。

また、様々な集合研修において、コンプライアンスの項目を加えることで、周知徹底の機会拡大を図っております。特に、役員及び全支店長に対しては、外部講師による専門的な集合研修を実施しております。

モニタリング

監査部による営業店・本部における法令遵守状況の検証

「営業店監査要領」及び「本部監査要領」においてコンプライアンスに関する項目を導入し、検証を行っております。

リーガルチェック

顧問弁護士を招いて「法務検討会」を開催し、問題案件の法務相談や新商品・新サービス等の法務チェックを実施しております。これとは別に、新しい商品・サービスの開始にあたっては「新商品開発検討委員会」を開催し、リーガルチェックやリスクの検討を行っております。

また、経営会議付議案件についてはすべて、リーガルチェックを実施しております。

同一部署長期滞留者等の異動状況及び長期連続休暇時のチェックの徹底

同一部署に長期滞留している行員や同一業務を長期間担当している行員については、異動状況の検証を徹底し、その解消を進めてまいります。

また、年に1回1週間以上の連続休暇取得を義務付け、その期間中に、管理者による担当職務の点検を行っております。

金融商品販売法

金融商品を販売する業者（銀行・証券・保険会社などの金融機関）が金融商品に関する重要事項の説明を怠り、お客さまが元本割れなどの損害を被ることのないよう、平成13年4月1日に「金融商品販売法」が施行

されました。

当行は、金融商品販売法への対応として独自に「勧誘方針」を策定し、商品の販売にあたって適切な説明・勧誘を行うよう努めております。

当行「勧誘方針」

- ① 当行は、お客さまの知識、経験、財産の状況に照らし、適切な商品の説明・勧誘を行います。
- ② 当行は、お客さま自身の判断と責任においてお取引いただけるよう、商品の内容やリスクの内容などの重要事項について、十分にご理解をいただくよう努めます。
- ③ 当行は、お客さまの信頼の確保を第一義とし、不確実な事項に対する断定的判断の提供や事実と異なる情報の提供など、お客さまの誤解を招くような説明・勧誘は行いません。
- ④ 当行は、正当な理由なく、深夜や早朝などの不適当な時間帯に、電話・訪問による勧誘は行いません。
- ⑤ 当行は、お客さまに対する説明・勧誘の適正の確保のため、社内チェック体制を整備するとともに、商品知識の習得に努めます。
- ⑥ 商品の説明・勧誘などについて、お気づきの点がございましたら、下記のお問い合わせ窓口までお寄せください。

お問い合わせ窓口 お客さま相談室 TEL 092-461-1875

※「勧誘方針」は、当行ホームページにも掲載しております。

インターネットホームページ <http://www.fcb.co.jp/>

リスク管理体制

当行は、経営の健全性を維持し、安定した収益を確保するため、リスク管理を重要な経営課題と位置付け、常にリスク管理体制の強化・充実に努めております。

リスクを適切に管理することにより、健全な事業を

営む企業や発展性のある事業計画に対して円滑な資金提供を行っております。

なお、来年10月の合併に伴うシステム統合につきましては、万全なリスク管理を進めております。

リスクの統合管理

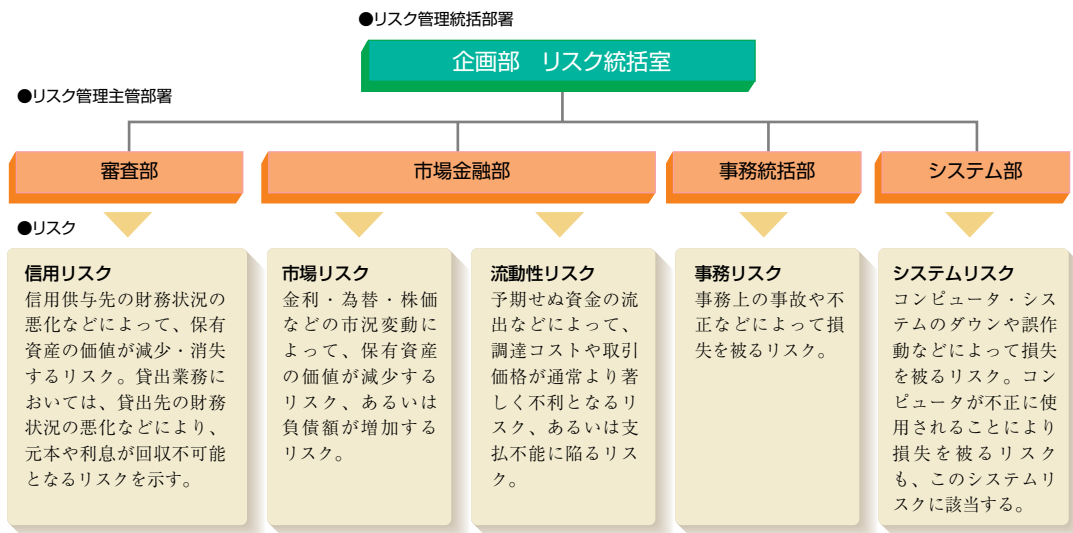
企画部内の「リスク統括室」において、信用リスク・市場リスク・流動性リスク・事務リスク・システムリスクなど、各種リスクの全行的な統合管理を行っております。

経営のリスク管理への関与については、経営が各種リスクの所在・管理手法について理解し、またリスク管理の重要性について認識しております。また、取締役会において各種リスクの状況が定期的に報告される

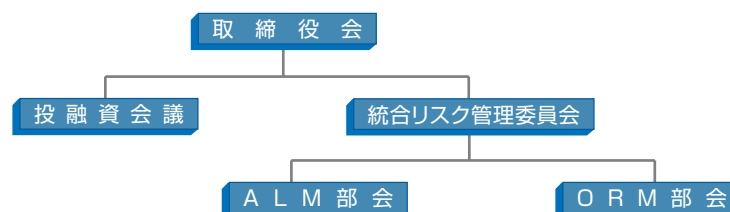
体制となっており、リスクの認識や対応策の協議など、必要な意思決定を行っております。

今後は、各種リスクに関する規程及び管理体制の見直しを行い、より機能する内部管理態勢を再構築するとともに、企画部リスク統括室と各部の連携を強めることにより、統合リスク管理態勢の機能強化を図ることとしております。

体制



会議の体系



信用リスク管理

銀行が抱える様々なリスクのうち信用リスクについては、経営に与える影響が大きいことから、管理態勢の厳正化・高度化に努めております。

特に、与信リスク分散化の観点から、大口与信集中リスクの回避を最重要課題として取り組んでおります。

また、地域金融機関として、“中小企業・事企業者への円滑な資金供給”と“リスクとリターンのバランス確保”とを併せて実現させることが重要であると認識しております。

大口与信の管理

平成14年5月に「投融資会議」を設置し、大口貸出先を対象に現状分析と今後の取組方針等についての審議を行ってまいりました。

平成14年12月には「大口与信管理規程」を制定し、取締役会の管理のもとで以下のような縮減計画策定等の取り組みを行うことといたしました。

- ① 投融資会議・取締役会において、貸出先毎の取組方針・貸出縮減計画を審議。
- ② 上記審議を踏まえ、銀行全体の大口貸出縮減計画を策定。
- ③ 計画の進捗状況を取締役会へ報告。

また、平成15年4月には、大口先の与信管理として審査部内に審査専従班を設置し、大口与信に対する審

査体制をさらに充実させました。

平成15年7月には、「大口与信管理規程」「投融資会議規程」の改訂ならびに大口与信管理態勢の見直しを行い、左記①～③の取り組みに加え、以下の施策を導入いたします。

- ① 企画部リスク統括室による検証態勢の構築とフォロー強化
- ② 外部の弁護士や公認会計士等を加えた業務監査委員会による監査機能の充実

以上の通り、大口与信管理態勢の牽制機能の強化を図ることで、銀行全体として大口与信集中リスクの回避に努めてまいります。

ALM(資産・負債の総合管理)

資産・負債のバランスから生じる各種リスクについて、総合的に管理しております。

関係各部長から成る「ALM部会」を毎月開催し、金利予測・各種リスク・収益動向などの分析を踏まえ、許容リスクの範囲内で収益を極大化させる方法を検

討しております。

その検討結果は「統合リスク管理委員会」において経営陣に報告され、協議・承認を受ける態勢としております。

リレーションシップバンキングの機能強化

金融機関の不良債権問題については、平成14年10月に「金融再生プログラム」が公表され、主要行に対して早期解決が求められております。

これに対して、中小・地域金融機関の不良債権処理

については、平成15年3月に「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」が公表され、主要行とは異なる特性を有する「リレーションシップバンキング」のあり方が示されております。

リレーションシップバンキングのあり方

「金融再生プログラム」（平成14年10月）及び「金融再生プログラム作業工程表」（同11月）に基づき、平成14年12月に「リレーションシップバンキングのあり方に関するワーキンググループ」が設置され、以下の内容について検討が行われました。

検討された項目

- ① リレーションシップバンキングの意義と有効性
- ② わが国のリレーションシップバンキングの現状
- ③ リレーションシップバンキングの機能強化の必要性と基本的考え方
- ④ リレーションシップバンキングの機能強化に向けた具体的な取り組み

中小・地域金融機関の不良債権問題については、以上の検討結果を踏まえた報告書「リレーションシップバンキングの機能強化に向けて」（平成15年3月）において、「平成16年度までの2年間で地域金融機関に関する『集中改善期間』としたうえで、それぞれの中小・地域金融機関が本報告書の提言に沿ってリレーションシップバンキングの機能を強化し、中小企業の再生と地域経済の活性化を図るための各種の取り組みを進めることによって、不良債権問題も同時に解決していくことが適当と考えられる。」との見解が示されております。

具体的な取り組み

平成16年度までの「集中改善期間」内にリレーションシップバンキングの機能強化を確実に図るため、以下の取り組みが求められており、平成15年8月末までに「リレーションシップバンキングの機能強化計画」を策定することとなっております。

当行はこれまでも、地域への円滑な資金供給や質の

高いサービスの提供を通じて、地域経済発展のお役に立てるよう努めてまいりましたが、今後は「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」に基づき、中小企業の再生と地域経済の活性化を図るための各種取り組みを進めてまいります。

I 中小企業金融の再生に向けた取り組み

- ① 創業・新事業支援機能等の強化
- ② 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化
- ③ 早期事業再生に向けた積極的な取り組み
- ④ 新しい中小企業金融への取り組み強化
- ⑤ 顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化
- ⑥ 進捗状況の公表

II 各金融機関の健全性の確保、収益性向上等に向けた取り組み

- ① 資産査定・信用リスク管理の厳格化
- ② 収益管理態勢の強化と収益力の向上
- ③ ガバナンスの強化
- ④ 地域貢献に関する情報開示等
- ⑤ 法令等遵守（コンプライアンス）
- ⑥ 地域の金融システムの安定性確保

地域貢献への取り組み

当行が地盤としている福岡県は、人口501万人（平成15年5月末、出所：福岡県調査統計課）、県民所得13兆7,502億円（平成11年度、出所：内閣府経済社会総合研究所）、県内総生産17兆3,029億円（平成11年度、出所：内閣府経済社会総合研究所）と、いずれも全国で第9位のポジションにあり、九州経済はもとより、わが国経済全体においても中枢的機能を有する都市圏として、重要な位置を占めております。

この福岡県において当行は、地域の中小企業者・個

人事業者・一般個人のお客さまに対する円滑な資金供給や質の高いサービスの提供を通じて、地域経済発展のお役に立てるよう努めるとともに、地域文化向上のための活動を進めてまいりました。

今後も、「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」に基づき、地域貢献へのこれまでの取り組みをさらに強化するとともに、その内容について地域の皆さまにご理解いただけるよう、積極的な情報開示に努めてまいります。

地域への円滑な資金供給

地元融資の拡大

当行は、福岡県内の地元企業からの資金要請に積極的に応えとともに、円滑な資金供給を図るため、県外における大口低採算の貸出金を圧縮してまいりました。福岡県内の貸出金が全体に占める割合は、18頁に記載の通り平成15年3月末で90.0%となり、4年間で

5.1%上昇しております。

今後も地域金融機関として、地域経済の発展と地元企業の育成のために、福岡県内及び近県への資金供給を強化してまいります。

中小企業向け融資取引の強化

地域金融機関の使命として中小企業の育成を念頭に置き、様々なニーズに本支店一体となって対応すると

ともに、タイムリーな情報提供を通じて企業の資金需要の喚起を促し、積極的な資金供給を行っております。

CITYクイックビジネスローン

平成12年3月に九州の金融機関としては初めて、事業性融資に自動審査システムを活用した「無担保」「第三者保証人不要」「翌日回答(原則)」を特徴とする『CITYクイックビジネスローン(QBL)』の取り扱いを開始し、平成15年6月末の残高は91億円、取扱開始からの実行累計は件数で13,600件、金額で401億円と、着実に実績を上げております。

QBLは、銀行融資と商工ローンとの間に位置するスモールマーケットをターゲットとする商品であり、担保や第三者保証人がないために従来は銀行の融資対象とならなかった事業者・企業に対して、自動審査システムを活用した円滑な資金供給に努めてまいりました結果、取引先数の約7割が当行融資取引新規となっております。

取り扱い窓口は、平成15年7月に7番目の専門拠点を宮崎市内に開設し、佐賀支店の受付窓口や当行子会社である長崎銀行の拠点も含めると、九州の全ての主要都市圏への展開が完了いたしました。

取り扱い窓口

平成15年7月14日 現在

天神西通りセンター支店	
ビジネスローン小倉	小倉支店2F
ビジネスローン久留米	久留米支店2F
ビジネスローン佐賀支店受付窓口	
ビジネスローン熊本	熊本支店2F
ビジネスローン大分	大分支店2F
ビジネスローン鹿児島	鹿児島支店2F
ビジネスローン宮崎	宮崎支店2F

CITY中小企業融資専門窓口	受付時間
 0120-81-9196	窓口 平 日 9:00~15:00
はい! クイックローン	電話 平 日 9:00~17:00

地域貢献への取り組み

CITYビジネスローン

平成14年6月には、当行が構築した事業性融資用の自動審査システムを活用し、九州では初めての福岡県信用保証協会との提携商品として、福岡県内の中小企業を対象とした『CITYビジネスローン（CBL）』の取り扱いを開始いたしました。

新自動審査システムの運用

当行の自動審査システムについては、QBL取扱開始から3年が経過したことと、CBL開発にあたり福岡県信用保証協会に審査精度を認めていただいたことから、事業性融資の審査のツールとして有効であると確信いたしました。

リテールビジネスセンター

中小企業・個人事業者のための融資専門窓口として、福岡市（平成12年9月開設）と北九州市（平成13年6月開設）にリテールビジネスセンター（RBC）を設置し、専門スタッフによるスピーディーな対応とタイムリーな情報提供を行っております。

また、RBCのお客さまに限定したQBLの取り扱いも行っております。

QBLと同様「無担保」「第三者保証人不要」であることに加え、通常の保証協会保証付融資と比べてお申し込みから保証承諾までの日数が大幅に短縮され、自動審査システムの対象領域を拡大した新商品として、円滑な資金供給につながっております。

そこで、平成15年1月より一般プロパー融資用の「新自動審査システム」の構築に着手し、平成15年6月には一部の営業店において運用を開始しており、円滑な資金供給に向けて取り組んでおります。

専門窓口

平成15年7月1日 現在

リテールビジネスセンター福岡

リテールビジネスセンター北九州

リテールビジネスセンター

0120-713-817
ナイス パートナー

受付時間

窓口 平日 9:00~15:00

電話 平日 9:00~17:00

個人向け融資取引の強化

当行は、結婚・教育・住宅の購入・消費財の購入・旅行等のライフプランに合わせた各種ローンを取り揃え、個人のお客さまの快適で合理的な生活設計の支援に努めております。

個人ローンの貸出金全体に占める割合は、18頁に記

載の通り平成15年3月末で30.2%となり、4年間で8.2%上昇いたしました。

今後も当行の商品・チャネル等の強みを活かし、地域のお客さまにとって利便性の高いローンの提供に努めてまいります。

地方公共団体等との取引

当行は、地方公共団体・地方公営企業・地方公社等への協力・関係強化は、金融機関の持つ公共的使

命の観点から、また地域社会の発展に寄与する上でも重要であると認識しております。

地方債の引受け及び貸出

福岡県・福岡市・北九州市などの地方公共団体が発行する地方債の引受けや貸出により、その資金需要に

お応えしております。

指定金融機関

福岡県内97市町村のうち4市9町1特別地公体の「指定金融機関」を受託しております。また「指定代理金融機関」として1県18市町村の公金業務をお取り扱いしているほか、当行の各支店所在地の営業エリアにおいては、9市21町の「収納代理金融機関」として公金の収納事務を受託するなど、地域との結びつきを強めております。

地元企業の育成

当行は、創業の折りに「興産1万人」という経営理念を掲げ、以来地元企業の育成に積極的に取り組んでまいりました。こうした長年の取り組みの結果、福岡経済界を支える企業を創出し、いまや全国区で業界を代表する上場企業へと成長したお取引先も数多くあり

指定金融機関の指定をいただいている市町村および特別地公体

平成15年7月1日 現在

前原市 甘木市 小都市 筑紫野市
 新宮町 篠栗町 志免町 粕屋町 宇美町
 三橋町 犀川町 久山町 豊津町
 福岡県介護保険広域連合

ます。

今後も、地元企業やベンチャー企業の育成により魅力ある地元マーケットを形成し、地域経済の発展につなげてまいります。

財団法人九州・山口地域経済貢献者顕彰財団

財団法人九州・山口地域経済貢献者顕彰財団は、当行の創設者である故・四島一二三の寄金を基に、昭和47年に設立されました。

地域経済の発展に特に優れた実績をあげている中小企業・中堅企業の経営者の方々を毎年表彰する「経営者賞」は、地元経営者の皆さまに大きな励みとして受け入れられています。

財団設立以来の受賞者は116名におよび、受賞企業のうち25社が上場または店頭公開を果たしています。



第30回 経営者賞授賞式

「経営者賞」過去10回の受賞者 ●現在上場・店頭公開されている企業

	受賞者(敬称略)	企業名・役職名(受賞時)
第21回	谷 脇 源 資 有 吉 正 臣 本 坊 慶 吉 原 口 能 也	金剛(株)会長 一番食品(株)社長 日本澱粉工業(株)会長 ●丸東産業(株)社長
第22回	中 山 安 弘 石 井 見 敏 金 井 忠 廣	(株)中山鉄工所社長 ●(株)石井工作研究所代表取締役 ●日本乾溜工業(株)社長
第23回	二 階 堂 暹 松 崎 正 年 長 谷 川 常 雄 柳 原 敏 雄	二階堂酒造(有)会長 インフラテック(株)社長 ●キューサイ(株)社長 (株)メック社長
第24回	荒 岡 俊 宣 北 川 安 洋 村 田 邦 彦 藤 賢 一	(株)東洋電機工業所社長 (株)ヨープリ会長 ●(株)ビエトロ社長 エフ・ジェイ都市開発(株)社長
第25回	永 松 明 水 利 倉 新一 小 倉 新一	(株)メイホー社長 オーム乳業(株)社長 (株)西日本流体技研社長
第26回	上 村 實 中 島 勝 美 梅 野 重 俊 本 房 周 作	上村建設(株)社長 雲海酒造(株)社長 ●(株)梅の花社長 テクニカル電子(株)社長
第27回	東 郷 哲 郎 森 田 光 徳 高 城 寿 雄 糸 水 一 平	(株)測上ミクロ社長 シャボン玉石けん(株)社長 (株)タカギ社長 信号電材(株)社長
第28回	黒 土 始 清 本 英 吉 村 清 男 末 吉 興 己 一	●第一交通産業(株)社長 清本鉄工(株)社長 エイコーシステムズ(株)社長 北九州市長(特別表彰)
第29回	石 田 慧 史 加 治 久 典 田 中 温	西日本警備保障(株)社長 (株)ハローデイ社長 セントマザー産婦人科医院院長
第30回	野 東 太 郎 青 木 精 男 稔	(株)ファビルス社長 東宝住宅(株)社長 不二精機(株)社長

地域貢献への取り組み

シティビジネスクラブ(CBC)

CBCは、当行のお取引先による会員組織として1,500社を超える企業にご参加いただき、会員企業の発展に資するために活動しております。

会員同士の交流を図ることでビジネスチャンス拡大のお手伝いをするほか、経営者から新入社員にいたる広範な方々を対象とした講演会・セミナー・研修の開催や情報誌の提供を行っております。

また、豊富な情報ネットワークを保有する「株式会社ベンチャーリンク」や「日経ベンチャー経営者クラブ(NVC)」との提携により、質の高いサービスをご提供しております。



CBC特別講演会



会員向けの経営情報誌

M&Aの仲介

当行は、地元企業の事業の拡大や再構築などを支援するために、M&Aの仲介を行っております。本部の専門スタッフが、友好的M&A（企業の合併・譲渡）、事業承継、企業成長戦略などに関してご提案しております。

また、西日本銀行とその関連会社である株式会社西銀経営情報サービスとの提携を平成14年6月より開始し、地域の中堅・中小企業の事業拡大や事業再構築等への支援体制を強化しております。

地域文化のサポート

「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」シリーズ.....

昭和54年にスタートしたこのシリーズでは、地元
の身近な話題やゆかりの人物をとりあげ、わかりやす
く紹介しております。

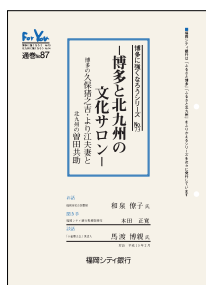
「ふるさと博多」「ふるさと北九州」をふりかえるシ
リーズとしてご好評をいただいております、すでに通巻87

号となりました。

各店のロビーにて無料配布しているほか、当行ホ
ームページにも一部内容を掲載しております。

インターネットホームページ <http://www.fcb.co.jp/>

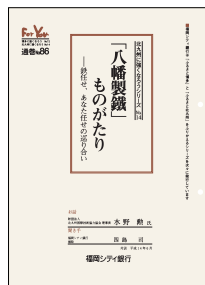
最新刊



「博多に強くなろう」シリーズ

No.73ー博多と北九州の
文化サロンー
博多の久保猪之吉・より江夫妻と
北九州の曾田共助

(お話)
福岡市総合図書館
和泉 僚子氏



「北九州に強くなろう」シリーズ

No.14「八幡製鐵」ものがたり
ー鉄任せ、あなた任せの巡り合い

(お話)
財団法人 北九州国際技術協力協会
理事長 水野 勲氏

プロムナードコンサート.....

昭和61年から本店エントランスホールで毎月1回開
催している「プロムナードコンサート」は、公演数が
200回を超えました。

お昼休みのコンサートとして地域の皆さまに親しま
れ、遠方からもご来場いただいております。



プロムナードコンサート

劇団四季ミュージカル.....

キャナルシティ博多にある「福岡シティ劇場」で公
演されるさまざまな劇団四季ミュージカルに協賛して
おります。

このほか、公募による抽選でご招待する「親子観劇
会」を開催しており、「親子観劇会の感想画展」と併
せて、毎回ご好評をいただいております。

地域サービスの充実

便利な店舗・ATMの展開

大型ショッピングセンターやコンビニエンスストアなど、お買物のついでにご利用いただける場所に、窓口やATMを展開しております。

ご利用時間についても、お客さまのライフスタイルにあわせる工夫を行っております。

インスタブランチ「CITYのいつでもプラザ」

大型ショッピングセンターに窓口をオープンしており、平日は20時まで（一部店舗は18時まで）、土・日・祝日は17時までご利用いただけます。

CITYのいつでもプラザがあるショッピングセンター

平成15年7月1日 現在

ゆめタウン筑紫野	ゆめタウン遠賀※	フルバンク サンリブくりえいと宗像店
ゆめタウン行橋	サンリブ古賀	フルバンク ダイエー笹丘店
福岡東サティ	ショッパーズモールマリナタウン	ゆめタウン大牟田
戸畑サティ	ゆめタウン博多	ホームワイド古賀店
ゆめタウン大川		



ホームワイド古賀店出張所

フルバンク
店舗
の窓口

ご利用時間
平日 9:00～20:00
土・日・祝 10:00～17:00

その他の窓口

ご利用時間
平日 10:00～20:00
※ゆめタウン遠賀は18:00まで
土・日・祝 10:00～17:00

コンビニATM

コンビニエンスストア **ampm** 内に、平日24時間ご利用いただけるATMを設けています。

CITYのATMがあるコンビニエンスストア

平成15年7月1日 現在

ampm 博多駅店	ampm 中央大手門1丁目店	ampm 二日市駅店
ampm 博多駅前3丁目店	ampm 中央舞鶴2丁目店	ampm 赤間駅店
ampm 博多駅前2丁目店	ampm 中央平尾2丁目店	ampm 福岡駅店
ampm 博多駅前4丁目店	ampm 香椎駅店	ampm 小倉北魚町2丁目店
ampm 博多キャナル店	ampm 筑前新宮駅前店	ampm 小倉駅北口店
ampm 博多御供所町店	ampm 城南別府1丁目店	ampm リバーウォーク北九州デコシティ店
ampm 博多呉服町店	ampm 城南神松寺2丁目店	ampm 城野駅前店
ampm 博多堅粕3丁目店	ampm 早良西新5丁目店	ampm 戸畑駅店
ampm 博多上牟田3丁目店	ampm 下山門1丁目店	ampm 八幡駅店
ampm 博多中洲5丁目店	ampm 姪浜駅前店	ampm 黒崎駅店
ampm 博多駅南1丁目店	ampm 周船寺駅前店	ampm 折尾駅店
ampm 天神警固神社前店	ampm 西区愛宕1丁目店	ampm 八幡西三ヶ森1丁目店
ampm 中央白金1丁目店	ampm 南塩原芸工大前店	ampm 久留米一番街店
ampm 中央大名2丁目店	ampm 筑前原駅前店	ampm 久留米駅店



ampm 博多駅店

CITYのお客さま
平日24時間サービス

ご利用時間 ただし **ampm** の営業時間内
月 7:00～24:00 火～金 0:00～24:00
土 0:00～21:00 日・祝 9:00～19:00

他行のお客さま

ご利用時間 ただし **ampm** の営業時間内
平日 8:00～21:00
土・日・祝 9:00～17:00

ダイレクトバンキングサービスの充実

ここ数年で急速に普及し、いまや一般的な通信手段となっている「携帯電話」や「インターネット」を利用して、あるいは従来からの通信手段である「電話」を利用して、時間や場所にとらわれることなく銀行取引ができるサービスを充実させております。 ※くわしいサービス内容は、35頁をご参照ください。

CITYテレバンク

平成10年4月よりスタートした「CITYテレバンク」は、サービス内容を充実させております。

個人のお客さまへのサービス拡充

平成13年5月21日からは、西日本の地方銀行としては初めて、キャッシュカードをお持ちのすべての個人のお客さまにもご利用いただけるようになりました。併せてご利用時間も延長しました。

お取り扱いしている銀行取引 (キャッシュカードをお持ちの個人のお客さま)

平成15年7月1日 現在

残高照会 取引明細照会 振替
住所変更 公共料金自動振替申込 預金・ローンその他ご相談

CITYテレバンクセンター

 0120-44-4431

ご利用時間

平 日 7:00~23:00
土・日・祝 7:00~19:00

※会員のお客さまには、より多様な銀行取引をご利用いただけます。

くわしくは [CITYテレバンクセンター ☎0120-03-5553](tel:0120-03-5553) へお問い合わせください。

法人のお客さまへのサービス開始

平成13年7月16日からは、全国の金融機関でも最先端のサービスである“法人会員”向けのサービスを開始しました。

CITYモバイルバンキング

「NTTドコモのiモード」または「auのEZweb」を利用して、24時間、銀行取引ができます。

お取り扱いしている銀行取引

平成15年7月1日 現在

残高照会 取引明細照会 振替 振込

※ご利用には、事前のお申し込みが必要です。

くわしくは [CITYテレバンクセンター ☎0120-03-5553](tel:0120-03-5553) へお問い合わせください。



CITYインターネットバンキング

ご自宅やオフィスのパソコンからインターネットを利用して、24時間、銀行取引ができます。

お取り扱いしている銀行取引

平成15年7月1日 現在

残高照会 取引明細照会 振替 振込
定期預金新規 定期預金追加預入 定期預金解約予約 定期預金照会
外貨定期預金新規 住所変更 公共料金自動振替申込

インターネットホームページ

<http://www.fcb.co.jp/>

※ご利用には、事前のお申し込みが必要です。

くわしくは [CITYテレバンクセンター ☎0120-03-5553](tel:0120-03-5553) へお問い合わせください。



平成15年3月期業績

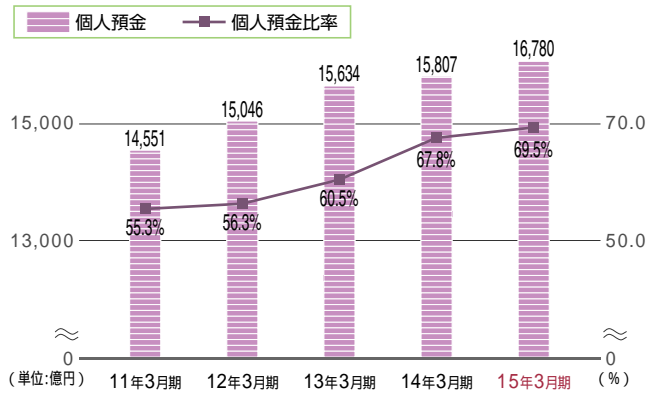
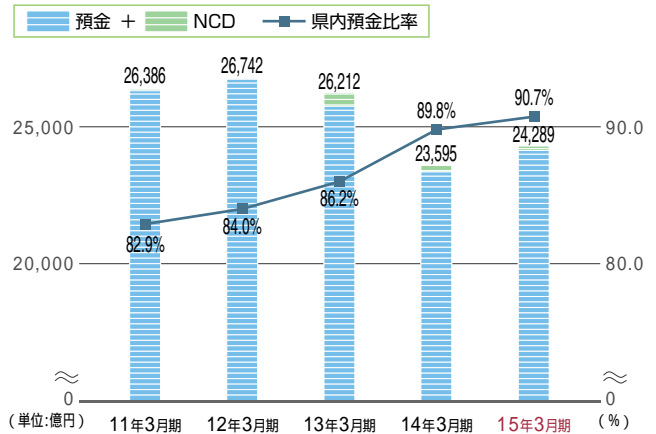
預金

地元を中心とするお客さまのお取引に努めていることから、福岡県内の取引が占める割合は引き続き上昇し、平成15年3月末において90.7%（前期末比+0.9%）となりました。

また、安定預金の吸収に努めたことから、個人預金は要求払預金や小口定期預金を中心に引き続き増加し、平成15年3月末の個人預金比率は69.5%（前期末比+1.7%）となりました。

預金全体でも前期末比854億円増加し、平成15年3月末残高は2兆4,159億円となりました。

NCDを含めると、平成15年3月末残高は2兆4,289億円（前期末比+694億円）となっております。

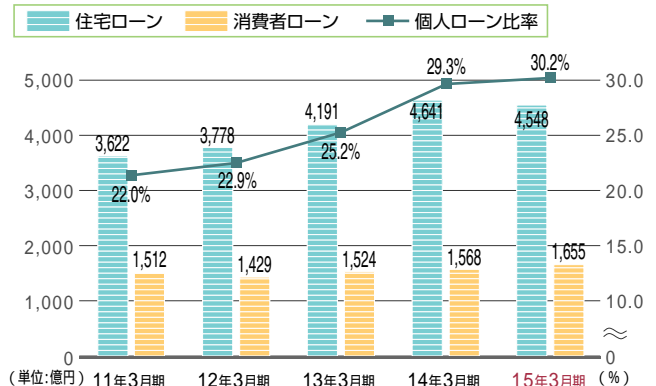
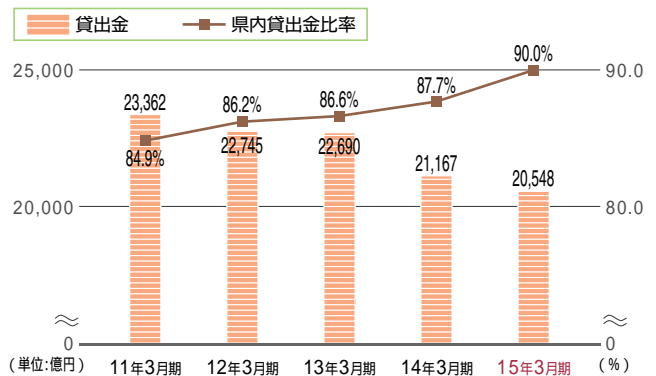


貸出金

地元を中心とするお客さまのお取引に努めていることから、福岡県内の取引が占める割合は引き続き上昇し、平成15年3月末において90.0%（前期末比+2.3%）となりました。

しかしながら、中堅・大企業を中心として資金需要が依然低調であることと、直接償却やバルクセールなどにより不良債権の最終処理を計画的に進めたことから、貸出金全体では前期末比619億円減少し、平成15年3月末残高は2兆548億円となりました。

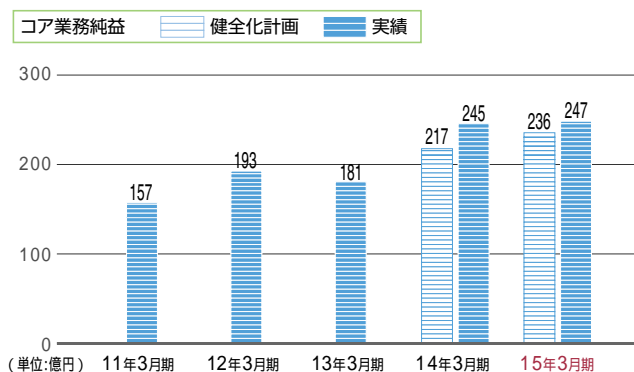
収益力の柱として位置付けている個人ローンは、住宅ローンの減少により全体では期中6億円減少したものの、収益性の高い無担保の消費者ローンは期中86億円増加し、平成15年3月末の個人ローン比率は30.2%（前期末比+0.9%）へと上昇しております。



コア業務純益

平成13年11月に公表した健全化計画に掲げた諸施策の履行に取り組み、“リテール強化”による高収益資産の積み上げと、“経営の効率化”による経費圧縮が進んでいることから、銀行の本業の利益を示すコア業務純益は着実に増加しております。

平成15年3月期のコア業務純益は、前期比2億円増加して247億円となり、健全化計画を11億円上回ることができました。



コア業務純益とは？

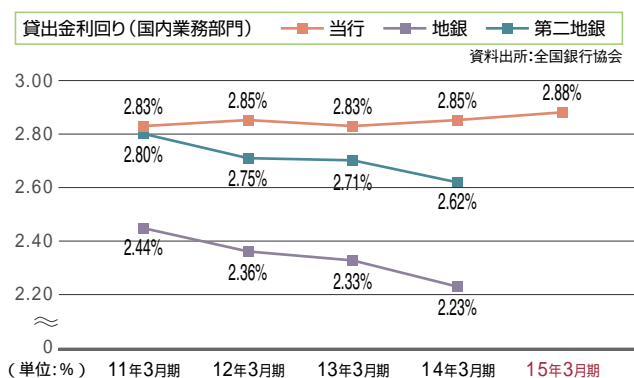
コア業務粗利益（預貸金業務による利息収支や、為替業務による手数料収支など）から経費を差し引いたもので、銀行の本業の利益を表す指標として用いられています。

$$\text{コア業務純益} = \text{コア業務粗利益 (利息収支など 手数料収支)} - \text{経費}$$

リテール強化

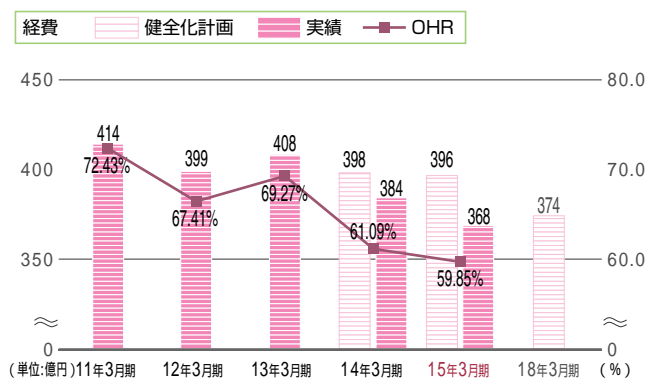
当行は、地元リテールを収益の核とするリテールビジネスモデルの構築に向けて、体制面・チャネル面・商品面などあらゆる面で、従来から他行に先駆けた取り組みを積極的に行ってまいりました。

その結果、高収益リテール資産の積み上げが進んでおり、金利低迷が続く環境においても、貸出金の利回りは高い水準を維持しております。



経営の効率化

低コストかつ高品質のサービスを提供するという観点から、営業拠点の再編や業務プロセスの革新などにより、店舗・人員の削減を積極的に進めてまいりました。加えて、役員報酬・職員賞与の減額を実施したことにより、平成15年3月期の経費は368億円と、健全化計画で掲げた平成18年3月期までの削減計画をすでに達成し、経営効率の指標であるOHRは59.85%へと低下しております。



OHRとは？

コア業務粗利益を上げるのにかかった経費を比率で表した指標で、数値が低いほど経営効率が優れていることを意味します。

$$\text{OHR} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}} \times 100$$

平成15年3月期業績

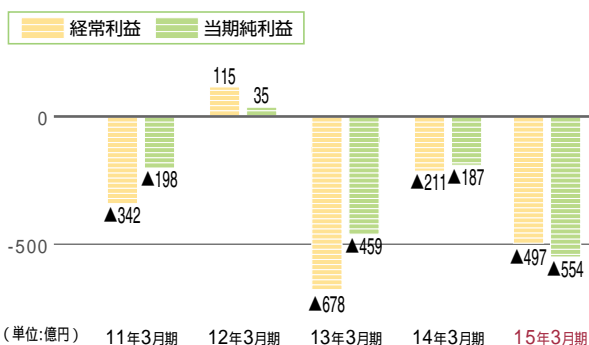
経常利益・当期純利益

19頁に記載の通り、銀行の本業の利益を表すコア業務純益は着実に増加いたしました。

不良債権への対応としては、平成14年3月期に将来起こりうるリスクを考慮した前倒し処理を行い、平成15年3月以降の不良債権処理額は徐々に減少する計画としておりました。

しかしながら、現在の深刻なデフレが今後も長引くことを考慮すると、将来起こりうるリスクを再検証し、西日本銀行との合併に向けて資産内容を万全なものとする必要があるとの判断に至り、平成15年3月期において3つの観点から資産内容の強化を行いました。

その結果、経常利益・当期純利益とも赤字となり、誠に遺憾ながら優先株式ならびに普通株式への配当を見送らせていただく結果となりました。



平成15年3月期に行った資産内容の強化

① 引当強化

将来の不良債権処理リスクへの対応として、「担保評価の引下げ」「引当率の引上げ」「債務者区分の引下げ」により大幅な引当強化を行いました。
今回の引当強化により、今後の不良債権処理は限定的になると見込んでおります。

② 減損処理の厳格化

時価が簿価より30%以上下回ったものは全銘柄を減損処理し、将来の株価下落リスクを大幅に解消いたしました。

③ 繰延税金資産の取崩し

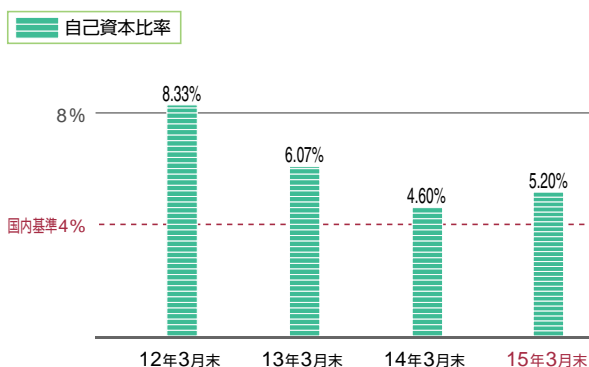
資産内容の一層の健全性を図るため、将来利益を保守的にみることで繰延税金資産の回収可能性を厳しく見積もり、約100億円の取崩しを行いました。

自己資本比率

平成14年9月30日において、公的資金である無担保転換社債（劣後特約付）700億円が優先株式へと転換したことにより、資本勘定は700億円増加いたしました。

しかしながら、将来リスクへの対応として大幅な引当強化等を行ったことにより、当期純損失554億円を計上したため、自己資本比率の上昇は平成14年3月末比0.60%にとどまりました。

平成16年3月期以降の業績回復を確実にすることで、自己資本比率の向上を目指してまいります。



自己資本比率とは？

銀行の健全性を示す指標のひとつです。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本(資本金など)}}{\text{リスク度合を考慮した資産}}$$

一定基準^{*}を上回ることが必要で、この基準を下回った銀行は、監督官庁から行政上の指導・処分を受けることになります。

※国内基準=4%
国際統一基準=8%

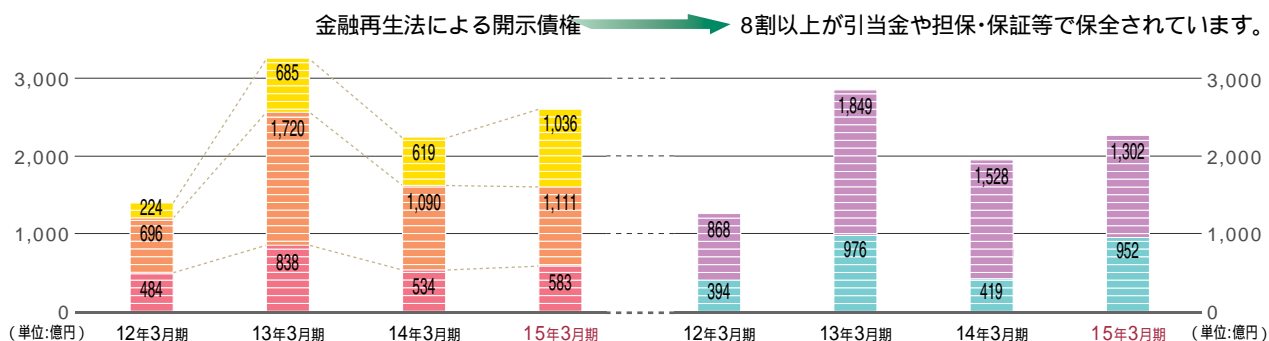
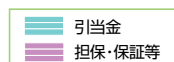
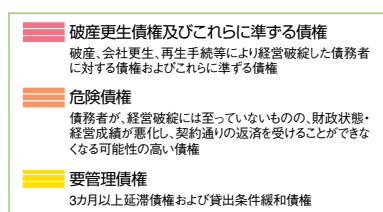
不良債権

金融再生法開示債権

金融再生法開示債権の残高は、直接償却やバルクセールによる減少があったものの、引当強化を目的としてデフレの長期化を想定した「債務者区分の引下げ」を行ったことにより、要管理債権を中心として増加い

たしました。

ただし、債権額の8割以上は引当金や担保・保証等で保全されています。



引当率の水準

今後の地価下落や競売価格等を考慮した「担保評価の引下げ」と、最終処理の加速を想定した「引当率の引上げ」を行ったことから、未保全部分（債権のうち担保・保証以外の部分）に対する引当率は、危険債権で93.11%、要管理債権で39.92%へと大幅に上昇いた

しました。

この引当率は、将来への備えとして高い水準であり、今後の不良債権処理は限定的になるものと見込んでおります。

平成15年3月末の保全状況

(金額単位:億円)	債権額 A	引当金 B	担保・保証等 C	未保全部分に対する引当率 $B \div (A - C)$
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	583	156	426	100.00%
危険債権	1,111	503	571	93.11%
要管理債権	1,036	292	303	39.92%
計	2,731	952	1,302	66.60%

将来への備えとして高い水準

業績回復に向けて

平成15年3月期における将来リスク排除による“健全化計画の利益目標の未達”と“優先株式の配当見送り”という事態を真摯に受け止め、平成16年3月期以降の業績回復と確実な配当復活を可能とするために、抜本

的収益改善等に向けて、次の通り取り組んでおります。

健全化計画につきましては、今後見直しを行う予定ではありますが、収益力強化や経営効率化に向けた諸施策を前倒して実践しております。

抜本的な収益改善

収益力強化の促進

当行は、地元リテールを収益の核とする「リテールビジネスモデル」の構築に向けて、体制面・チャンネル面・商品面などあらゆる面で、従来から他行に先駆けた取り組みを積極的に行ってまいりました結果、金利低迷が長期化する環境においても、当行の貸出金利回りは19頁に記載の通り高水準を維持しております。

収益性をより重視した運用面での取り組みとして、無担保ローンおよび中小企業向け融資を柱としたリテール強化をさらに進めるとともに、リスクに見合った利鞘の確保に努めてまいります。

また、金利環境に影響されない安定収益源の確保に向けて、手数料収入の強化を図ってまいります。

経営効率化の促進

19頁に記載の通り、平成15年3月期の経費は368億円と、健全化計画で掲げた平成18年3月期までの削減計画をすでに達成し、経営効率の指標であるOHRは59.85%へと低下しております。

今後も経営の効率化をさらに徹底させるとともに、優先株式無配期間中における追加的な対応として役員待遇の見直しを行うことで、合併時のOHRは55%程度まで低下する見込みであります。

資産内容の強化

平成15年3月期において「引当強化」「減損処理の厳格化」「保守的な将来利益見積りによる繰延税金資産の計上」を行い資産内容を強化したことで、今後の不良債権処理や減損処理は限定的になると見込んでお

りますが、不良債権の新規発生を防止するために“大口与信集中リスクの回避”“企業の再生支援による正常化”“破綻懸念先以下のオフバランス化”を柱とした「与信ポートフォリオの改善」に取り組んでおります。

経営体制の改革

公的資金導入により発行した優先株式について、平成15年3月期の配当を見送る結果となったことに対し、代表取締役としての経営責任を明確にするため旧頭取及び旧副頭取は、本年6月27日の定時株主総会後の取締役会をもって辞任いたしました。なお、辞任に伴う役員退職慰労金は支給いたしません。

また、本年7月1日には本部組織を変更いたしました。新経営陣のもと、「経営意思の決定／監督」「業務執行」「監査」の各機関が効果的かつ効率的に機能する組織体制を構築することで、内部管理態勢の強化を図り、将来にわたる安定的収益の確保を目指してまいります。

財務基盤の強化

抜本的な収益改善により、平成16年3月期以降の業績回復を見込んでおりますが、迅速な強化を図るため、

“不良債権問題の早期解決に向けた新たな体制の構築”と“減資による欠損金の一掃”に取り組んでおります。

不良債権問題の早期解決

当行は、平成15年3月期において、将来の不良債権処理リスクへの対応として「担保評価の引下げ」「引当率の引上げ」「債務者区分の引下げ」により大幅な引当強化を行い、最終処理への備えを万全なものいたしました。

今後は、最終処理を迅速に進めることにより、不良債権残高の早期圧縮を図る次第であります。

地域金融機関の不良債権問題の解決については、金融庁より「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」が本年3月に公表され、

主要行とは異なる特性を有する「リレーションシップバンキング」のあり方が示されております。

そこで当行は、“平成15・16年度の2年間を「集中改善期間」とし、中小企業の再生と地域経済の活性化を図るための各種取り組みを進めることで、不良債権問題も同時に解決していくことが適当である”との同プログラムの趣旨を踏まえ、不良債権の集中管理と企業再生を効率的かつ迅速に進めるために、会社分割制度等の活用により企業再生・債権回収ノウハウの高度化と貸出債権価値の最大化を図ってまいります。

減資による欠損金の一掃

平成16年3月期の確実な配当復活を可能とするため、欠損金を一掃すべく、減資を実施することいたしました。

資本の部のなかで資本金125億円を減少し、同額を欠損に充当するもので、資本の部の合計額と発行済株

式総数を変更しない方法により行います。

本件は、すでに平成15年6月27日開催の定時株主総会で承認をいただいております。法令上のその他手続きや関係当局の認可を経た後に実施いたします。

減資の要領

- ① 減少すべき資本の額

減少する資本の額	12,508,048,690 円
現在の資本の額	73,211,898,650 円
減少後の資本の額	60,703,849,960 円

 ※減資後の資本の部合計額は、減資前と同額の79,634百万円となります。
- ② 資本の減少の方法

資本金額のみを減少する方法
(発行済株式総数は変更しない。)

減資の日程

取締役会決議日	平成15年5月26日
株主総会決議日	平成15年6月27日
債権者異議申述最終期日	平成15年8月4日(予定)
減資の効力発生日	平成15年8月5日(予定)

役員

平成15年7月1日現在



専務取締役
(代表取締役) **大内田 勇成**



取締役頭取
(代表取締役) **本田 正寛**



専務取締役
(代表取締役) **藤本 宏文**



常務取締役 **中原 二典**



常務取締役 **船津 幹夫**



取締役 **岩井 聡**

監査役
(常勤) **小佐々 祐之**

監査役 **清原 雅彦**

監査役
(常勤) **蟹川 陽一**

監査役 **野口 康見**

(注) 監査役のうち、清原雅彦及び野口康見は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

常務執行役員 **久保 進吾**

常務執行役員 **長竹 美義**

執行役員 **宮崎 誠**

執行役員 **藤田 知行**

執行役員 **川本 惣一**

執行役員 **山口 正**

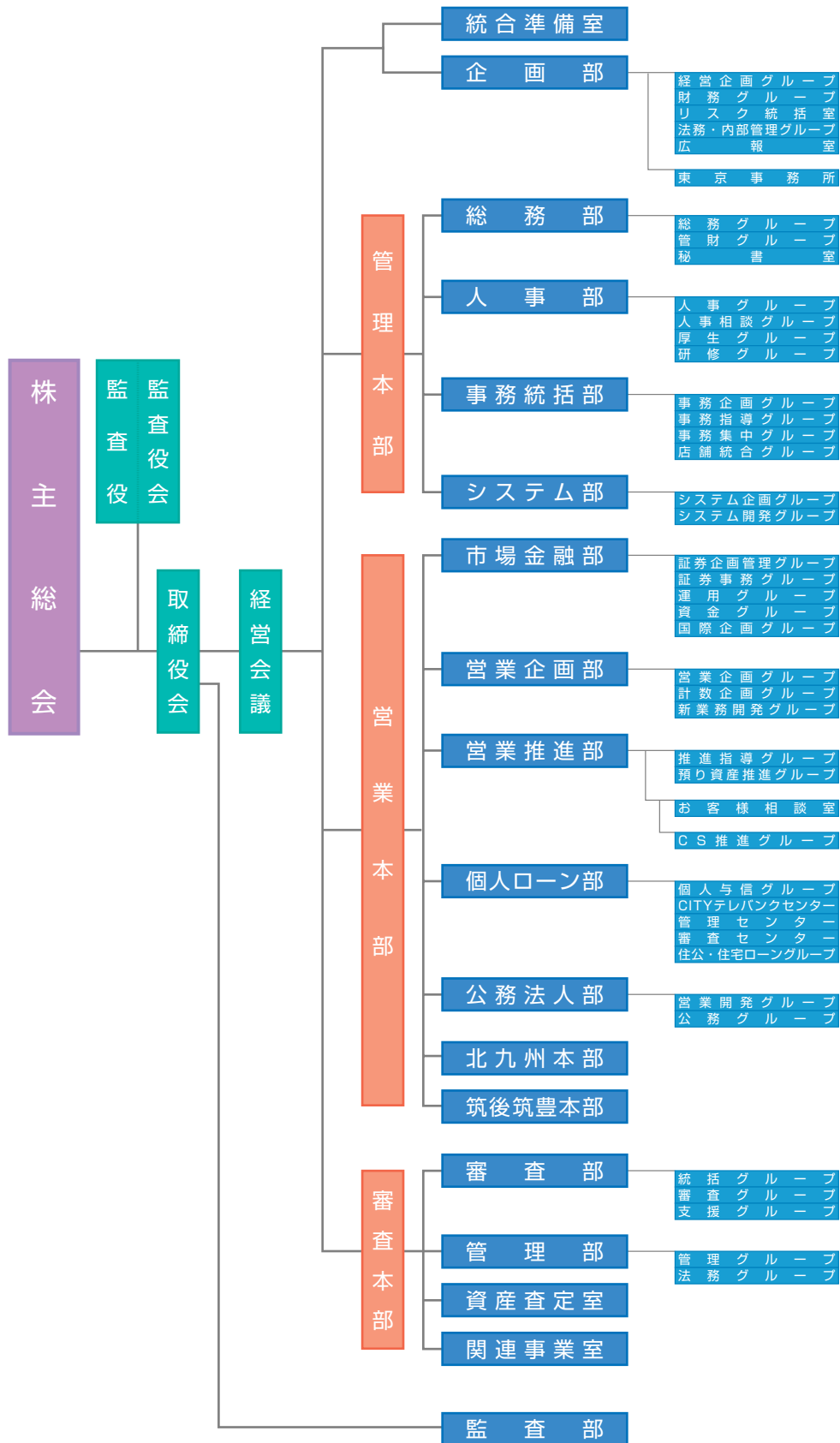
執行役員 **林田 弘之**

執行役員 **南波 一洋**

執行役員 **長島 秀彦** (平成15年7月1日、西日本銀行との人事交流により就任いたしました。)

組織図

平成15年7月1日現在



店舗

平成15年7月1日現在

福岡市

博多区

本店営業部	〒812-8687 福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号	092(441)2222
博多駅東支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目12番1号	092(481)0351
比恵支店	〒812-0007 福岡市博多区東比恵1丁目5番13号	092(411)6166
呉服町支店	〒812-0024 福岡市博多区綱場町1番1号	092(281)5631
キャナルシティ博多支店	〒812-0018 福岡市博多区住吉1丁目2番25号	092(272)5001
博多南支店	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4丁目4番12号	092(451)2223
雑餉隈支店	〒816-0079 福岡市博多区銀天町1丁目5番28号	092(581)1331
吉塚支店	〒812-0041 福岡市博多区吉塚5丁目1番7号	092(621)3751
美野島支店	〒812-0017 福岡市博多区美野島2丁目14番7号	092(451)3361
千代町支店	〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目1番27号	092(641)2201

中央区

天神支店	〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目9番17号	092(761)3231
天神地下街出張所	〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目地下1号	092(741)6764
渡辺通支店	〒810-0005 福岡市中央区清川1丁目9番19号	092(531)1931
大名支店	〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目5番28号	092(771)8931
シティセンターネット支店	〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目5番28号	☎0120-03-5553
OB 天神西通りセンター支店	〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目5番28号	092(725)0607
赤坂門支店	〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目2番3号	092(771)9551
平尾支店	〒810-0014 福岡市中央区平尾2丁目16番20号	092(522)2831
薬院支店	〒810-0022 福岡市中央区薬院2丁目1番1号	092(712)7621
六本松支店	〒810-0045 福岡市中央区草香江2丁目1番1号	092(761)1634
ISB 田島支店 (ダイエー笹丘店内)	〒810-0034 福岡市中央区笹丘1丁目28番74号	092(731)3115

東区

箱崎支店	〒812-0053 福岡市東区箱崎1丁目24番10号	092(651)4135
ISB ゆめタウン博多出張所	〒812-0055 福岡市東区東浜1丁目1番1号	092(632)5162
香椎支店	〒813-0044 福岡市東区早良5丁目8番1号	092(661)1251
西戸崎支店	〒811-0321 福岡市東区西戸崎4丁目1番35号	092(603)0127
若宮支店	〒813-0036 福岡市東区若宮3丁目2番33号	092(662)3631
福岡流通センター支店	〒813-0034 福岡市東区多の津1丁目14番1号	092(622)2455

城南区

堤支店	〒814-0151 福岡市城南区堤1丁目13番30号	092(861)1561
七隈支店	〒814-0114 福岡市城南区金山団地50番3号	092(801)1331
城南区役所内派出所	〒814-0103 福岡市城南区鳥飼6丁目1番1号	092(821)0044

早良区

西新町支店	〒814-0005 福岡市早良区祖原1番1号	092(821)1838
藤崎支店	〒814-0013 福岡市早良区藤崎1丁目1番37号	092(822)3511
荒江支店	〒814-0021 福岡市早良区荒江2丁目9番8号	092(843)5631
早良支店	〒811-1122 福岡市早良区早良2丁目21番12号	092(804)0322
原支店	〒814-0022 福岡市早良区原6丁目27番58号	092(822)3475
野芥支店	〒814-0171 福岡市早良区野芥1丁目2番43号	092(861)6511
四箇田特別出張所	〒814-0176 福岡市早良区四箇田団地1番3号	092(811)5171
早良区役所内派出所	〒814-0006 福岡市早良区百道2丁目1番1号	092(821)5979

西区

姪浜支店	〒819-0004 福岡市西区姪浜町1011-1	092(891)5331
ISB ショッピングモールマリナタウン出張所	〒819-0014 福岡市西区豊浜3丁目1番10号	092(884)1002
今宿支店	〒819-0167 福岡市西区今宿1丁目5番23号	092(806)1900
野方支店	〒819-0042 福岡市西区峇岐団地73番12号	092(812)4444

南区

長住支店	〒811-1362 福岡市南区長住4丁目2番23号	092(561)2611
井尻支店	〒811-1302 福岡市南区井尻5丁目4番5号	092(591)3838
大橋支店	〒815-0033 福岡市南区大橋1丁目10番8号	092(551)2850
野間支店	〒815-0041 福岡市南区野間1丁目7番1号	092(551)2515
屋形原支店	〒811-1356 福岡市南区花畑3丁目17番7号	092(565)1511
弥永支店	〒811-1323 福岡市南区弥永4丁目14番1号	092(571)3311

福岡市近郊

福岡市西近郊

前原支店	〒819-1116 前原市前原中央2丁目11番7号	092(322)5941
------	---------------------------	--------------

福岡市南近郊

春日原支店	〒816-0802 春日市春日原北町3丁目57番地の1	092(591)8112
春日南支店	〒816-0844 春日市大字上白水19番10号	092(573)3381
春日支店	〒816-0814 春日市春日5丁目17番	092(595)8211
那珂川支店	〒811-1201 筑紫郡那珂川町大字片縄観音堂482番1	092(952)3523
下大利支店	〒816-0951 大野城市下大利団地3番1号	092(582)1431
二日市支店	〒818-0051 筑紫野市二日市中央2丁目9番7号	092(923)2531
朝倉街道支店	〒818-0062 筑紫野市針摺289番1	092(925)5131
ISB ゆめタウン筑紫野出張所	〒818-0062 筑紫野市針摺30番の21	092(929)0101
五条支店	〒818-0125 太宰府市五条3丁目2番14号	092(922)5166
小郡支店	〒838-0143 小郡市小坂井310番の1	0942(72)2008
三沢支店	〒838-0106 小郡市三沢上鷹添3984番の1	0942(75)1000

粕屋・宗像

古賀支店	〒811-3101 古賀市天神2丁目2番11号	092(942)3636
ISB サンリブ古賀出張所	〒811-3101 古賀市天神2丁目5番1号	092(942)1181
ISB ホームワイド古賀店出張所	〒811-3114 古賀市舞の里3丁目14番地の12号	092(943)5959
宇美支店	〒811-2101 粕屋郡宇美町宇美5丁目1番5号	092(932)0210
篠栗支店	〒811-2413 粕屋郡篠栗町尾仲73番地の1	092(947)0521
粕屋支店	〒811-2304 粕屋郡粕屋町仲原平原2148の1	092(938)1231
ISB 福岡東サティ出張所	〒811-2206 粕屋郡志免町御手洗字高原6	092(611)7188
志免支店	〒811-2202 粕屋郡志免町志免2丁目1番1号	092(935)8501
新宮支店	〒811-0112 粕屋郡新宮町下府古川1637番地の6	092(962)2521
日の里支店	〒811-3425 宗像市日の里1丁目29番8	0940(36)6767
ISB 赤間支店 (サンリブくりえいと宗像内)	〒811-4183 宗像市くりえいと1丁目5番1号	0940(33)3341
福岡支店	〒811-3213 宗像郡福岡町中央6丁目1番7号	0940(42)5111

北九州市とその近郊

小倉支店	〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町1丁目5番1号	093(521)6531
宇佐町支店	〒802-0023 北九州市小倉北区下富野4丁目18番42号	093(531)9735
三萩野支店	〒802-0075 北九州市小倉北区昭和町13番14号	093(921)8381
日明支店	〒803-0833 北九州市小倉北区朝日ヶ丘3番26号	093(581)8800
金田支店	〒803-0816 北九州市小倉北区金田1丁目1番4号	093(591)2882
南小倉支店	〒803-0841 北九州市小倉北区清水3丁目13番31号	093(931)1751
城野支店	〒802-0801 北九州市小倉南区富士見1丁目4番1号	093(931)1166
湯川支店	〒800-0257 北九州市小倉南区湯川5丁目7番11号	093(931)7000
曾根支店	〒800-0221 北九州市小倉南区下曾根新町10番1号	093(472)7061
徳力支店	〒802-0972 北九州市小倉南区守恒1丁目11番12号	093(963)5551
志徳支店	〒802-0974 北九州市小倉南区徳力3丁目20番1号	093(962)6781
八幡支店	〒805-0019 北九州市八幡東区中央2丁目2番24号	093(671)2631
黒崎支店	〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎1丁目3番18号	093(631)3531
三ヶ森支店	〒807-0843 北九州市八幡西区三ヶ森3丁目10番23号	093(612)6711
折尾支店	〒807-0825 北九州市八幡西区折尾1丁目14番16号	093(603)1361
ゆめタウン遠賀出張所	〒811-4303 遠賀郡遠賀町松の本1丁目1番1号	093(293)3381
本城支店	〒807-0805 北九州市八幡西区光貞台1丁目1番2号	093(603)5761
小嶺支店	〒806-0073 北九州市八幡西区町上津役東2丁目4番1号	093(611)0900
門司支店	〒801-0852 北九州市門司区港町1番20号	093(331)1631
門司駅前支店	〒800-0025 北九州市門司区柳町1丁目3番3号	093(371)3366
若松支店	〒808-0034 北九州市若松区本町2丁目3番23号	093(761)4427
戸畑支店	〒804-0066 北九州市戸畑区初音町1番8号	093(871)5121
ゆめタウン戸畑出張所	〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町122番	093(883)3801
戸畑区役所内派出所	〒804-0082 北九州市戸畑区新池1丁目1の1	093(871)4689
戸畑病院内派出所	〒804-0093 北九州市戸畑区沢見2丁目5の1	093(871)6025
中間支店	〒809-0013 中間市上蓮花寺1丁目51番地	093(245)0181
苅田支店	〒800-0351 京都府苅田町京町1丁目3番3	093(434)5161
行橋支店	〒824-0003 行橋市大橋3丁目2番1号	0930(23)1150
ゆめタウン行橋出張所	〒824-0031 行橋市西宮市3丁目8番1号	0930(25)8899

筑後

久留米支店	〒830-0017 久留米市日吉町23番3	0942(32)6381
東久留米支店	〒830-0034 久留米市大手町1番地の5	0942(34)9731
大牟田支店	〒836-0807 大牟田市旭町1丁目1番地の7	0944(54)8381
ゆめタウン大牟田出張所	〒836-0807 大牟田市旭町2丁目28番1号	0944(53)7485
大川支店	〒831-0016 大川市酒見字中原7番地の1	0944(86)2151
ゆめタウン大川出張所	〒831-0031 大川市大字上巻430番の1	0944(86)4268
甘木支店	〒838-0068 甘木市甘木1840番地の1	0946(22)3841
柳川支店	〒832-0023 柳川市京町14番地の1	0944(73)4164
筑後支店	〒833-0031 筑後市山の井277の2	0942(52)2115
八女支店	〒834-0063 八女市大字本村445番地10	0943(24)5011

筑豊

飯塚支店	〒820-0042 飯塚市本町6番11号	0948(22)2800
穂波支店	〒820-0081 嘉穂郡穂波町大字枝国476番地の4	0948(25)1651
直方支店	〒822-0034 直方市大字山部字上原田244の13	0949(23)2411
田川支店	〒826-0022 田川市本町7番15号	0947(44)1700
伊田支店	〒825-0015 田川市伊田町2621番の1	0947(42)8888

福岡県外

長崎県

長崎支店	〒850-8691 長崎市万屋町5番39号	095(822)2246
佐世保支店	〒857-0806 佐世保市島瀬町9番17号	0956(23)6101

佐賀県

佐賀支店	〒840-0826 佐賀市白山2丁目5番13号	0952(26)4141
唐津支店	〒847-0046 唐津市高砂町1699番地の27	0955(72)4108
鳥栖支店	〒841-0033 鳥栖市本通り町1丁目東浦畑802番地3	0942(82)6131

大分県

大分支店	〒870-0035 大分市中央町1丁目5番18号	097(532)1231
中津支店	〒871-0033 中津市島田794番地の3	0979(22)1400
日田支店	〒877-0016 日田市三本松1丁目12番1号	0973(23)3194

宮崎県

宮崎支店	〒880-0805 宮崎市橋通東3丁目4番6号 <small>(7月14日オープン)</small>	0985(24)5115
------	---	--------------

熊本県

熊本支店	〒860-0846 熊本市城東町2番22号	096(356)3611
------	-----------------------	--------------

鹿児島県

鹿児島支店	〒892-0846 鹿児島市加治屋町15番11号	099(224)3161
-------	--------------------------	--------------

山口県

下関支店	〒750-0025 下関市竹崎町1丁目15番22号	0832(23)4141
宇部支店	〒755-0031 宇部市常盤町1丁目6番34号	0836(21)7351

東京都

東京支店	〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目4番21号	03(3274)1641
------	-----------------------------	--------------

■店舗の地区別分布

(か店)

福岡県	112
福岡市とその近郊	70
北九州市とその近郊	27
筑後	10
筑豊	5
長崎県	2
佐賀県	3
大分県	3
その他	6
計	126

平日以外の稼働

- 土 土曜稼働
- 土・日 土曜、日曜稼働
- 土・日・祝 土曜、日曜、祝日稼働

平日19時以降の稼働

- 20 平日20時まで稼働
- 21 平日21時まで稼働
- 24 平日24時間サービス
(16頁をご参照ください。)

北九州市

小倉北区

小倉駅周辺

- 24 24 土 JR小倉駅
- 24 24 土 みかけ通り
- 24 24 土 小倉鍛冶町
- 24 24 土 リバーウォーク北九州
- 24 24 土 小倉京町
- 24 24 土 am/pm小倉北倉町2丁目店
- 24 24 土 小倉魚町
- 24 24 土 am/pm小倉駅北口店
- 24 24 土 モノレール小倉駅前
- 24 24 土 am/pmリバーウォーク九州コンテ

その他

- 24 24 土 ボブラ小倉緑ヶ丘店
- 24 24 土 宇佐町商店街
- 24 24 土 日明朝日ヶ丘
- 24 24 土 チャチャタウン小倉
- 24 24 土 日明井掘
- 24 24 土 マルシヨク富野店
- 24 24 土 北九州市役所
- 24 24 土 北九州市役所(庁舎内)
- 24 24 土 NTT北九州市外電話局
- 24 24 土 小倉北区役所
- 24 24 土 黄金町商店街
- 24 24 土 北九州医療センター
- 24 24 土 サンリブ到津

小倉南区

- 24 24 土 レッドキャベツ城野店
- 24 24 土 北九州総合病院
- 24 24 土 曾根サテイ
- 24 24 土 朽網
- 24 24 土 ザ・モール小倉
- 24 24 土 am/pm城野駅前店
- 24 24 土 徳力サテイ
- 24 24 土 小倉南区役所
- 24 24 土 ダイエー徳力店
- 24 24 土 北九州大学

門司区

- 24 24 土 センリンプリンテックス
- 24 24 土 マルシヨク西門司店

戸畑区

- 24 24 土 戸畑区役所
- 24 24 土 戸畑サテイ
- 24 24 土 新日鐵戸畑西門
- 24 24 土 am/pm戸畑駅店
- 24 24 土 北九州テクノセンター

若松区

- 24 24 土 サンリブ若松
- 24 24 土 サンリブ高須
- 24 24 土 ジャスコ若松店

八幡東区

- 24 24 土 am/pm八幡駅店
- 24 24 土 スペースワールド
- 24 24 土 北九州市立八幡病院

八幡西区

- 24 24 土 メイト黒崎
- 24 24 土 サンリブ三ヶ森
- 24 24 土 黒崎中央
- 24 24 土 am/pm八幡西三ヶ森1丁目店
- 24 24 土 協和ストア青山店
- 24 24 土 サンリブ木屋瀬
- 24 24 土 am/pm黒崎駅店
- 24 24 土 マルシヨクEL上津役店
- 24 24 土 サンリブ折尾
- 24 24 土 穴生
- 24 24 土 九州共立大学
- 24 24 土 北九州プリンスホテル
- 24 24 土 am/pm折尾駅店
- 24 24 土 八幡西区役所
- 24 24 土 産業医科大学病院
- 24 24 土 黒崎営業通用門
- 24 24 土 メルクス本城店
- 24 24 土 星ヶ丘生鮮プラザ

北九州市近郊

- 24 24 土 ショッピングモール中間
- 24 24 土 犀川駅前
- 24 24 土 中間市役所
- 24 24 土 ロジャース本店
- 24 24 土 中間市立病院
- 24 24 土 苅田町役場
- 24 24 土 中間ウェルパークヒルズ
- 24 24 土 ナフコ行橋
- 24 24 土 ゆめタウン遠賀
- 24 24 土 ゆめタウン行橋
- 24 24 土 ダイエー水巻店
- 24 24 土 行橋市役所
- 24 24 土 西日本工業大学
- 24 24 土 第2行橋市役所
- 24 24 土 日産九州工場
- 24 24 土 豊津町役場
- 24 24 土 サンリブEL苅田

筑後

久留米

- 24 24 土 久留米大学商学部
- 24 24 土 am/pm久留米一番街店
- 24 24 土 久留米工業大学
- 24 24 土 am/pm久留米駅店
- 24 24 土 タイホー十三部店
- 24 24 土 久留米大学付属病院
- 24 24 土 エフコープ久留米店
- 24 24 土 久留米大学医療センター
- 24 24 土 タイホー国分店
- 24 24 土 古賀病院
- 24 24 土 サンリブ久留米
- 24 24 土 久留米市役所
- 24 24 土 西鉄久留米駅

大牟田

- 24 24 土 米の山病院
- 24 24 土 大牟田市立病院
- 24 24 土 大牟田市役所
- 24 24 土 南大牟田

その他

- 24 24 土 柳川市役所
- 24 24 土 八女市役所
- 24 24 土 サンリブ筑後
- 24 24 土 ジャスコ甘木店
- 24 24 土 九州松下電器筑後工場
- 24 24 土 甘木市役所前
- 24 24 土 ゆめタウン八女

筑豊

- 24 24 土 飯塚自動車学校前
- 24 24 土 直方市役所(1階)
- 24 24 土 新飯塚
- 24 24 土 直方市役所第2(地下1階)
- 24 24 土 ハローティ九工大前店
- 24 24 土 ナフコ飯塚南店
- 24 24 土 田川市立病院
- 24 24 土 ジャスコ穂波
- 24 24 土 サンリブ田川
- 24 24 土 トヨタ自動車九州ノースレストラン
- 24 24 土 田川市役所
- 24 24 土 トヨタ自動車アクセラレーターオフィス
- 24 24 土 田川市立病院第2
- 24 24 土 トヨタ自動車九州ヘッドオフィス
- 24 24 土 ナフコ直方店

福岡県外

- 24 24 土 鳥栖シティモール
- 24 24 土 別府
- 24 24 土 荒尾中央病院

■店舗外ATM・CDの地区別分布(か所)

福岡市	135
博多区	33
中央区	39
東区	18
南区	8
早良区	11
西区	11
南区	15
福岡市近郊	50
北九州市	64
小倉北区	23
小倉南区	10
門司区	2
戸畑区	5
若松区	3
八幡東区	3
八幡西区	18
北九州市近郊	17
筑後	24
筑豊	15
福岡県内計	305
福岡県外	3
計	308

商品

預金

おもな預金は次の通りです。

■総合口座	特 色	お預入れ期間	お預入れ金額
普 通 預 金	1冊で3種類の預金をセットでき、暮らしの機能が充実している家計簿が わりの口座です。	入金・出金とも自由	下記の各商品欄を ご参照ください。
貯 蓄 預 金	受取る機能……給与・年金等の振込み 支払う機能……公共料金等の自動引落し 貯める機能……各種定期預金や貯蓄預金	入金・出金とも自由	
各 種 定 期 預 金	借りる機能……定期預金の90%、最高500万円まで自動借入れ	1か月～10年	
■要求払預金	特 色	お預入れ期間	お預入れ金額
当 座 預 金	小切手・手形で支払いができます。	入金・出金とも自由	1円以上
普 通 預 金	自動受取・自動支払などのサービスもご利用いただけます。 ※一定期間のお預入れの平均残高に応じて、段階的に金利を上乗せする 「CITYスーパーバンク普通預金」もご用意しています。	入金・出金とも自由	1円以上
通 知 預 金	短期間の資金運用に適しています。	7日以上	5万円以上
納 税 準 備 預 金	税金の支払いに備えます。利息は非課税です。	入金は自由 出金は納税時	1円以上
貯 蓄 預 金	残高に応じた金利が適用されます。	入金・出金とも自由	1円以上
■定期預金	特 色	お預入れ期間	お預入れ金額
新 期 日 指 定 定 期 預 金	1年毎の複利計算です。1年の据置期間経過後であれば、1か月前までに期 日を指定することで引出しできます。	最長3年 ※据置期間1年を含む。	100円以上 300万円未満
ス ー パ ー 定 期 預 金	「一部解約機能付き」や「利息分割受取型」といった便利な機能や、各種 キャンペーンも用意しています。	1か月～10年	100円以上
大 口 定 期 預 金	大口の資金運用に適しています。 ※西日本銀行・長崎銀行とのネットワークを活かして、3行間で預金を取り 次ぐ「NCNネットワークサービス3000」もご用意しています。	1か月～10年	1,000万円以上
変 動 金 利 定 期 預 金	お預入れから半年毎に金利を見直します。	1年・2年・3年	100円以上
■積立式定期預金	特 色	お預入れ期間	お預入れ金額
フ リ ー プ ラ ン 型 積 立	期間・積立額などを自由に設定できます。	6か月以上自由	1,000円以上
エ ン ド レ ス 型 積 立	期間を定めない積立なので、ロングプランに適しています。	エンドレス	
■財形預金	特 色	お預入れ期間	お預入れ金額
財 形 年 金 預 金	お勤め先の財形制度を通じて、給与・ボーナスから財産作りをします。 老後の生活資金のための「財形年金」と住宅資金のための「財形住宅」は、 合わせて550万円までは利息非課税の特典があります。	5年以上 ※加入年齢55歳未満	1,000円以上
財 形 住 宅 預 金		3年以上 ※加入年齢制限なし	
財 形 期 日 指 定 定 期 預 金 (一 般 財 形)			
■譲渡性預金	特 色	お預入れ期間	お預入れ金額
譲 渡 性 預 金	まとまった資金を短期間運用するのに適しています。 必要な時は、満期前に譲渡することができます。	2週間～2年	5,000万円以上

資産運用

円預金のほかにも資産運用のための商品をご用意しています。

	特 色
CITY外貨定期預金	米ドルで運用する定期預金です。 元利金が自動継続扱いとなる商品や、利息を3か月ごとに受け取れる商品があります。
投資信託	資金運用のプロが、株式や債券などに分散投資して、その成果をお客さまに還元する商品です。 公社債を中心に安定運用を行うものから、株式等を対象に積極的に運用するものまで、様々な商品があります。 都度購入していただくファンドにくわえ、毎月定額を自動的に購入いただける「CITY 投信自動積立 夢・リターン」もご用意しています。
公 共 債	国や地方公共団体が額面金額・利息の支払いを保証してくれる、安全かつ確実な債券です。

●専門スタッフがご相談・ご質問にお応えします。

福岡シティ銀行
営業推進部運用アドバイザーグループ
☎0120-72-8883

受付時間
平 日 9:00~17:00

融資 個人のお客さまへ

※各種ローンのご利用にあたりましては、規定・ご返済方法・金利変動ルール等にご留意ください。

おもな有担保ローン

くわしくは、最寄りの当行窓口までご相談ください。

目的型ローン

■住宅	特 色	ご返済期間	お借入れ金額
快適住宅プラン	住宅の新築・増改築、中古住宅・建売住宅・マンションの購入のほか、自宅建設のための土地購入、返済中の住宅融資の借換えやそれに関わる諸費用にもご利用いただけます。リフォーム資金も可能です。	35年以内 (中古住宅購入・借換えは30年以内)	1億円以内 (借換えは5,000万円以内)
住宅ローン (一般型)	住宅の新築・増改築や中古住宅・建売住宅・マンションの購入、住宅建設のための土地購入などにご利用いただけます。	変動金利の場合 30年以内 固定金利の場合 25年以内	1億円以内
元金均等住宅ローン	毎月一定額の元金を返済いただくことで、元利均等による返済と比べて残高の減少が早くなります。	30年以内	1億円以内

■アパート	特 色	ご返済期間	お借入れ金額
アパートローン	アパートや賃貸マンションの建設・購入にご利用いただけます。	30年以内	5億円以内

使いみち自由のローン

■一般ローン	特 色	ご返済期間	お借入れ金額
ライフローン	暮らしに必要な資金に幅広くご利用いただけます。	30年以内	1億円以内

■カードローン	特 色	お借入れ限度額
ライフカードローン	あらかじめ設定された枠の範囲内であれば、必要な時にお借入れできます。 お手持ちのキャッシュカードでご利用いただけます。	100万円以上 5,000万円以内
教育支援ビッグカードローン	学校納付金をはじめとして、教育に関するあらゆる資金にご利用いただけます。	100万円以上 1,000万円以内

商品

融資 個人のお客さまへ(つづき)

おもな無担保ローン

ローンのお申し込みにあたりましては、所定の審査がございます。

当行は、ローンの受付から審査・回答までを30分以内で行えるスピーディーな審査体制を整えており、その特長を活かした商品を開発しています。

また、一部の商品では土・日・祝日や夜間の受付にも対

応しています。

くわしくは、最寄りの窓口またはCITYテレバンクセンターまでご相談ください。

CITYテレバンクセンター

☎0120-03-5553

受付時間

平日 8:00~21:00

土・日・祝 9:00~17:00

目的型ローン

■住宅	特 色	ご返済期間	お借入れ金額
無担保・借換えローン	ご返済中の公的住宅資金（住宅金融公庫・年金福祉事業団等からの借入）の借換えにご利用いただけます。	10年以内	750万円以内
住宅購入 引っ越し&諸費用ローン	住宅公庫・住宅ローンをお申し込みの方を対象としています。 登記費用や引越しやインテリアにかかる費用など、住宅取得の際に必要な諸費用にご利用いただけます。	10年以内	200万円以内 <small>ただし 住宅建設（購入）資金の 5%以内</small>
■くらし	特 色	ご返済期間	お借入れ金額
カーローン	車の購入・車検・修理にご利用いただけます。	7年以内	300万円以内
教育ローン	入学金・授業料など、入学・進学の際の学校納付金にご利用いただけます。	10年以内	500万円以内

使いみち自由のローン

■一般ローン	特 色	ご返済期間	お借入れ金額
ワイドローン	暮らしに必要な資金に幅広くご利用いただけます。	7年以内	300万円以内
■カードローン	特 色	お借入れ限度額	
ワイドカードローン	あらかじめ設定された枠の範囲であれば、必要な時にお借入れできます。 お手持ちのキャッシュカードでご利用いただけます。	20・30・50・100万円	
スーパー・ワイドカードローン		150・200・300万円	
信販カードローン		20・30・50・100・200万円	
CITYキャッシュエース	主婦、アルバイト、学生の方もお申し込みいただけます。 電話・FAX・郵送でもお申し込みが可能です。	10・20・30・40・ 50・80・100・150・200万円	
快適キャッシュ・ミニ	[10万円スタートコース] は学生の方にもお申し込みいただけます。 [30万円スタートコース] は、ご利用状況に応じて限度額が自動的にステップアップします。	10・30万円	
ISカードローン	主婦、アルバイト、学生の方もお申し込みいただけます。 電話・FAX・郵送でもお申し込みが可能です。	20・30万円	
■おまとめ専用ローン	特 色	ご返済期間	お借入れ金額
おまとめローン	ご返済中のローンやクレジットを一本化します。	7年以内	300万円以内

福岡シティ銀行ローン受付センター

☎0120-175-919

イナゴー タイック

受付時間

平日 9:00~19:00

融資 中小企業の経営者や個人事業者の方へ

	特 色
CITYクイックビジネスローン	無担保・第三者保証人不要・翌日回答（原則）を特長としています。 専門窓口でご相談に応じます。（11頁をご参照ください。）
CITYビジネスローン	当行と福岡県信用保証協会との提携による、無担保・保証人条件優遇・迅速回答を特長とした融資です。 従来の保証協会付保融資と比べ、審査に要する時間が10営業日程度から3営業日程度へと、大幅に短縮することが可能となりました。

CITYクイックビジネスローンのほか、ご融資全般についてのお問い合わせ・お申し込みは

CITY中小企業融資専門窓口
☎0120-81-9196
はい! クイックローン

受付時間

平日 9:00~17:00

クレジットカード

	特 色
福岡シティ銀行 VISAカード	世界各地でご利用いただける「VISAカード」を、銀行本体でお取扱っています。 当行とのお取引に応じたVISAワールドプレゼントへのポイント加算や、当行のローンをご利用の際の金利優遇など、当行ならではの特典があります。

各種業務・サービス

各種業務

証券業務

	内 容
公 共 債 の 窓 口 販 売	新規発行される国債・地方債等の募集を取扱い、窓口で販売しています。
デ ィ ー リ ン グ	既に発行されている公共債について、業者間の売買や個人のお客さま向けの販売を行っています。
社 債 の 管 理 (私 募 債 を 含 む)	社債発行にあたってのご相談を受けるとともに、発行から償還までの社債管理を行っています。
公 社 債 の 引 受	国・地方公共団体・公社公団が発行する債券を引受け、これら発行体の資金調達に協力しています。
コマーシャル・ペーパーの 引 受 ・ 売 買	コマーシャル・ペーパー発行にあたってのご相談を受けるとともに、発行されたCPの売買を行っています。

国際業務

	内 容
買 易 金 融	お客さまの輸出入に関するお取引を幅広くお取り扱いしています。 輸出関係……輸出信用状 (L/C) の通知、輸出手形の買取り・取立など 輸入関係……輸入信用状 (L/C) の開設、輸入ユーザンスの実行など
外 国 送 金	送金小切手の作成・郵便送金・電信送金による海外送金をお取り扱いしています。
外 貨 両 替	外国通貨の売買、旅行小切手の販売・買取りを行っています。 外国通貨や旅行小切手をお客さまご指定の場所までお届けする「外貨宅配サービス」もお取り扱いしています。
先 物 為 替 予 約	為替相場の変動により生じるリスクを回避する手段として、輸出入決済などの先物為替予約をお取り扱いしています。

■ご相談	TEL	内 容
外 為 事 務 セ ン タ ー カ ス タ マ ー デ ス ク	☎ 0120-07-0084 092-852-5258	外国為替に関するあらゆるご相談にお応えしています。
中 国 室	092-461-1858	中国人弁護士の室長を中心として、中国に関する貿易取引・投資・進出・調査等のご相談にお応えしています。

■出版物	
シ テ ィ 海 外 ニ ュ ー ス	アジアを中心とした海外の金融動向・経済トピックスをお届けしています。

信託業務

	信託銀行の代理店として信託業務をお取り扱いしています。
	内 容
土 地 信 託	信託銀行がお客さまに代わって土地の有効活用を行い、その成果を信託配当としてお客さまに交付します。
年 金 信 託	信託銀行が、企業や厚生年金基金から信託された資金を管理・運用し、将来の年金または退職金の支給に備えます。
公 益 信 託	信託銀行が、公益のために役立つ目的で篤志家や企業から信託された財産を管理・運用し、奨学金や助成金の交付等を行います。
特 定 贈 与 信 託	信託銀行が、特別障害者の生活安定を図る目的で篤志家や企業から信託された財産を管理・運用します。個人が信託した場合、6,000万円までは贈与税が非課税となります。
金 銭 債 権 信 託	企業が保有する売掛債権等を信託し、信託受益券を販売することで資金調達が行えます。

アドバイス

	内 容
M & A の 仲 介	事業の多角化・拡大や事業承継の方法としてM&Aをお考えのお客さまに、専門スタッフによる仲介等のご提案を行っています。
財 務 相 談	相続・土地活用・事業承継・資産運用など、お客さまのご要望に沿ったファイナンシャル・プランニングを専門スタッフがを行っています。

各種サービス

ダイレクトバンキングサービス

時間や場所にとらわれることなくご利用いただける来店不要型サービスです。窓口でのお取引より、振込手数料がお得です。

くわしくは [CITYテレバンクセンター☎0120-03-5553](tel:0120-03-5553) へお問い合わせください。

	特 色
CITYテレバンク	電話一本で銀行取引をご利用いただけます。
CITYモバイルバンキング	「NTTドコモのiモード」「auのEZweb」を使って、24時間、銀行取引をご利用いただけます。
CITYインターネットバンキング	インターネットを使って、24時間、銀行取引をご利用いただけます。

CITYテレバンクのサービス内容

サービスメニュー	テレバンク会員		カード保有の 個人のお客さま	その他の お客さま
	個人	法人		
残 高 照 会				
取 引 明 細 照 会				
振 替				
振 込	事前登録された 口座あて			
	登録のない 口座あて			
預 金 取 引 (口座開設)	普通預金			
	貯蓄預金			
	定期預金			
	積立式定期預金			
預 金 取 引 (追加入金)	定期預金			
	積立式定期預金			
預 金 取 引 (解約)	定期預金			
	積立式定期預金			
外 貨 預 金 取 引				
外 貨 両 替				
住 所 変 更				
公 共 料 金 自 動 振 替 申 込				
代 金 支 払				
振込先口座の登録・解除				
振込限度額の変更				
個 人 ロ ー ン				
事 故 仮 受 付				
各 種 ご 相 談				

サービス受付電話番号

会員専用フリーダイヤル

☎0120-44-4431

☎0120-03-5553

サービス時間

オペレーターによる受付  自動音声による受付 

平日 8:00~21:00 平日 7:00~23:00
土・日・祝 9:00~17:00 土・日・祝 7:00~19:00

ただし、1月1~3日および5月3~5日はご利用いただけません。

CITYインターネットバンキング

CITYモバイルバンキング

のサービス内容

サービスメニュー	事前にお申し込み いただいた お客さま
残 高 照 会	
取 引 明 細 照 会	
振 替	
振 込	事前登録された口座あて
	登録のない口座あて
定期預金新規	
定期預金追加預入	
定期預金照会	
定期預金解約予約	
外貨定期預金新規	
住所変更	
公共料金自動振替申込	
取引結果照会	
暗証番号・E-mailアドレス変更	

サービス時間

24時間

ただし、システムメンテナンスのため下記の
時間(日本時間)はご利用いただけません。

毎週月曜日 3:00~7:00

12月31日 17:00~1月4日 8:00

インターネットホームページ <http://www.fcb.co.jp/>

各種業務・サービス

その他のサービス ※ご利用料金には、別途消費税がかかります。

■EB

お客さまがパソコンや専用端末機などを操作することにより、銀行取引をご利用いただけるサービスです。窓口でのお取引より、振込手数料がお得です。

ご利用ツール	お取引内容	ご利用料金 <small>※別途振込手数料がかかります。</small>
ナイスホ ン サ ー ビ ス	専用端末機 (ホームユース接続)	[ANSERサービス]がご利用いただけます。 月 額： 1,000円
ペイバイファックス サ ー ビ ス	お手持ちのファックス	総合振込・給与振込をファックスでご依頼いただけます。 月 額： 1,000円
パソ コ ン サ ー ビ ス	お手持ちのパソコン またはコンピュータ <small>※専用ソフトを購入いただけます。</small>	[データ伝送サービス][ANSERサービス][資金集中・管理サ ービス]がご利用いただけます。 契 約 時： 50,000円 月 額： パソコン 10,000円 コンピュータ 15,000円 照会(作当)： 5円
シ ティ ボー イ サ ー ビ ス	当行指定の専用端末機 「シティボーイ」	[データ伝送サービス]のうち総合振込・給与振込・口座振替請 求と、[ANSERサービス]がご利用いただけます。 月 額： 8,000円

お取引内容についての詳細は、次の通りです。

お取引口座の照会 (予め取り決めた時間に一括)	●入出金明細照会 ●振込入金明細照会 ●残高照会
[データ伝送サービス] お支払い	●総合振込 ●給与(賞与)振込 ●市町村民税納付
代金の回収	●口座振替請求 ●口座振替結果照会
[ANSERサービス] お取引口座の照会	●入出金明細照会 ●振込入金明細照会 ●残高照会
振替・振込	
[資金集中・管理サービス] 複数銀行口座間の資金集中・配分・管理	

■振込通知・照会

お取引内容	ご利用料金
テレフォ ン サ ー ビ ス	振込入金内容を電話で自動的に通知し、お客さまからもご照会いただけます。 預金残高を電話でご照会いただけます。 無 料
ファクシ ミ リ サ ー ビ ス	入出金明細・振込入金内容をファックスで自動的に通知し、お客さまからもご照会いた だけます。預金残高をファックスでご照会いただけます。 月 額： 1,000円 1枚当たり： 10円

■集金合理化

お取引内容	ご利用料金
代金回収サービス	「Qネット」や「SMBCファイナンス」のネットワークを利用して、集金先の取引金融機関から 口座振替により代金を回収します。 持込み1回当たり：2,000円 <small>※取扱件数に応じた手数料が 別途がかかります。</small>
集金収納サービス	集金代金を振り込むための専用通帳を発行します。当行の窓口やATMで、集金担当者が直接 入金することができます。 通帳発行1名につき： 1,000円 入金1回当たり：窓口200円 ATM100円

■自動送金

お取引内容	ご利用料金 <small>※別途振込手数料がかかります。</small>
定額自動送金	毎月一定日に一定金額を、指定された受取人の口座に自動的に振り込みます。 契 約 時： 1,000円

■貸金庫など

お取引内容	ご利用料金
夜間金庫	銀行窓口の営業時間外でも売上代金などを安全にお預かりし、お取引口座に入金します。 年 間： 108,000円 入金帳1冊： 6,000円
貸金庫 保 護 函	預金証書・株券・貴金属などの貴重品や重要書類をお預かりします。 年 間： 7,000円より 年 間： 6,000円

■その他

お取引内容	ご利用料金
自動受取サービス	給料・年金・配当金・国債の元利息・保険金などが、ご指定の口座に自動的に入金されます。
自動支払サービス	各種公共料金・税金・保険料・クレジット代金・校納金・新聞代などを、ご指定の口座から自動的にお支払いします。
CITYカード (キャッシュカード)	当行が本支店や駅・コンビニ・デパート等に展開しているATM・CDのほか、全国の金融機関が設置しているATM・CDで、 現金自動引出しサービスをご利用いただけます。デビット機能がついているため、J-Debit加盟店での買物代金の支払い にもご利用いただけます。

手数料

おもな手数料 ※別途消費税がかかります。

■振込手数料

(1件または1通当たり)

窓	口	電信扱	3万円未満 3万円以上
---	---	-----	----------------

振込先		
同一店内	当行本支店	他行
300円 500円	300円 500円	600円 800円

Ⓢ 長崎銀行宛の振込は、当行本支店宛と同額です。

A T M (自動振込機)	現金から	電信扱	3万円未満 3万円以上
	CITYの キャッシュカード・通帳から	電信扱	3万円未満 3万円以上
テ レ ホ ン バ ン キ ン グ	九州・沖縄地区の第二地銀の キャッシュカードから	電信扱	3万円未満 3万円以上
	その他の第二地銀の キャッシュカードから	電信扱	3万円未満 3万円以上
イ ン タ ー ネ ッ ト バ ン キ ン グ	オペレーターによる受付	電信扱	3万円未満 3万円以上
	自動音声による受付	電信扱	3万円未満 3万円以上
モ バ イ ル バ ン キ ン グ		電信扱	3万円未満 3万円以上

振込先		
同一店内	当行本支店	他行
100円 200円	100円 300円	400円 600円
100円 100円	100円 200円	300円 500円
100円 200円	100円 300円	400円 600円
200円 300円	200円 400円	500円 700円
100円 200円	100円 300円	400円 600円
無料 無料	100円 100円	300円 500円
無料 無料	100円 100円	300円 500円

Ⓜ 西日本銀行 Ⓢ 長崎銀行宛の振込は、当行本支店宛と同額です。

■ATM・CDでのお引出手手数料 (コンビニATM以外)

		平日	8:00~8:45	8:45~9:00	9:00~14:00	14:00~17:00	17:00~18:00	18:00~19:00	19:00~21:00	
当 行 の お 客 さ ま	平日	100円			無料				100円	
	土				無料		100円			
	日祝					100円				
他 行 の お 客 さ ま	九州・沖縄地区 の第二地銀	平日	100円			無料			100円	
		土				無料	100円			
		日祝					100円			
	Ⓜ 西日本銀行	平日	200円				100円			200円
		土					100円	200円		
		日祝					200円			

※空白の時間については、ご利用いただけません。

■ATM・CDでのお引出手手数料 (コンビニATM)

		月	0:00~7:00	7:00~8:45	8:45~9:00	9:00~14:00	14:00~18:00	18:00~19:00	19:00~21:00	21:00~24:00
当 行 の お 客 さ ま	月	100円				無料			100円	
	火~金	100円				無料			100円	
	土	100円				無料		100円		
	日祝						100円			

		平日	8:00~8:45	8:45~9:00	9:00~14:00	14:00~17:00	17:00~18:00	18:00~19:00	19:00~21:00	
他 行 の お 客 さ ま	三井住友銀行	平日	100円			無料			100円	
		土				無料	100円			
		日祝					100円			
	Ⓢ 長崎銀行	平日	200円				100円			200円
		土					100円	200円		
		日祝					200円			

※空白の時間については、ご利用いただけません。

手数料

■大口両替手数料（窓口のみ）

両替後の合計枚数	1～100枚	無料
	101～200枚	100円
	201～300枚	200円
	301～400枚	300円
	401～500枚	400円
	501～600枚	500円
	601～700枚	600円
	701～800枚	700円
	801～900枚	800円
	901～1,000枚	900円
	1,001枚以上	1,000円

※自動両替機による両替には、手数料はかかりません。

■発行手数料

再発行	通帳・証書・キャッシュカード	(1件当たり)	1,000円
	カードローン出金専用カード	(1件当たり)	1,000円
③口座	口座開設	(1件当たり)	3,000円
	手形	(1枚当たり)	500円
	当座小切手帳	(1冊50枚当たり)	600円
	ホームチェック	(1冊20枚当たり)	160円
	約束手形帳・為替手形帳	(1冊50枚当たり)	800円
	自己宛小切手	(1枚当たり)	500円
	返済予定表再交付	(1件当たり)	500円
証明書	預貸金残高証明書	(1件当たり)	300～500円
	支払利息証明書	(1件当たり)	500円
	その他	(1件当たり)	500～1,000円

■保護預り手数料（年間）

披封預り	(1先当たり)	2,000円
封緘預り	(1個当たり)	2,000円
国債等証券	(1先当たり)	1,200円

■金取扱に関する手数料（年間）

金地金	販売	(1個当たり)	6,000円
	買取	(1個当たり)	6,000円
金証書	証書取扱	(1取引当たり)	2,000円
	保護預り：基本部分	(1取引当たり)	1,000円
	：月割部分	(1g当たり)	12円（上限6,000円）

■株式払込保管証明料（一括払込の場合）

総払込額	5千万円未満	総払込額× $\frac{2.5}{1,000}$ 円
//	5千万円以上 1億円未満	総払込額× $\frac{2.0}{1,000}$ 円
//	1億円以上 3億円未満	総払込額× $\frac{1.5}{1,000}$ 円
//	3億円以上 5億円未満	総払込額× $\frac{1.2}{1,000}$ 円
//	5億円以上 7億円未満	総払込額× $\frac{1.0}{1,000}$ 円
//	7億円以上	総払込額× $\frac{1.0}{1,000}$ 円

窓口におたずねください。

■不動産担保取扱手数料

担保事務取扱	(1件当たり)	50,000円
法務局2か所以上の場合の追加料金	：県内	10,000円
	：県外	30,000円

